

再 評 価 に 係 る 資 料

【道路関係】

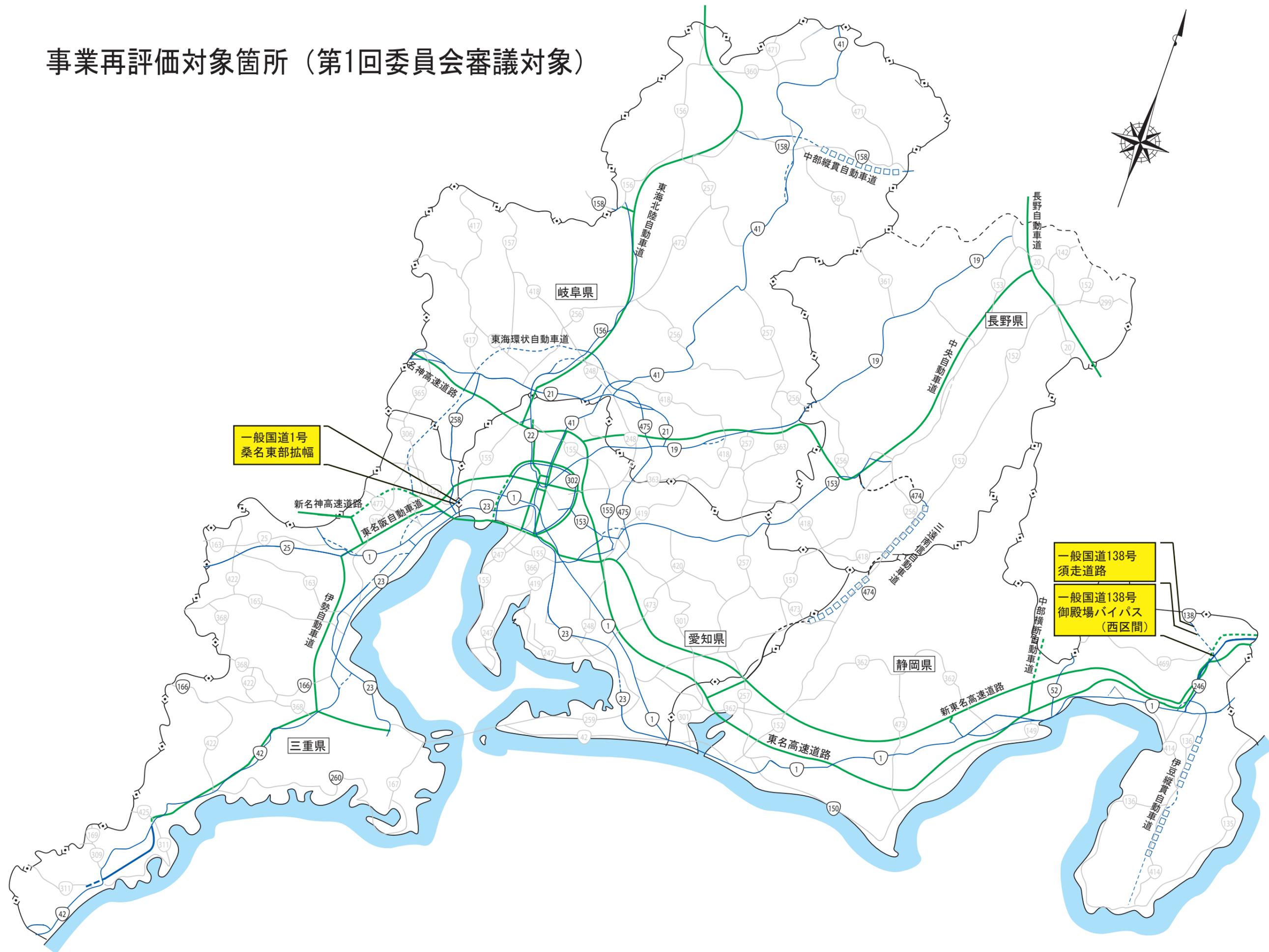
平成 2 9 年 5 月 1 6 日

国土交通省中部地方整備局

目 次

1. 事業再評価対象事業位置図	1
2. 事業再評価を実施する事業の一覧表（道路事業）	2
3. 費用対効果分析実施判定票	3
4. 事業再評価結果原案、B／Cバックデータ	
○一般国道1号 桑名東部拡幅	6
○一般国道138号 須走道路	25
○一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）	46

事業再評価対象箇所（第1回委員会審議対象）



事業再評価を実施する事業の一覧表(道路事業)

整理番号	事業種別※1	該当項目※2	都道府県名	路線番号	箇所名	事業の目的	事業延長(km)	事業化年度	都市計画決定又は変更年度	用地着手年度	工事着手年度	供用済み延長(km)	全体事業費(億円)	事業進捗率(%)	事業を巡る社会情勢等の変化	事業の状況及び今後の見通し	B/C	対応方針(原案)	備考
1	2次	④	三重	1	一般国道1号桑名東部拡幅	一般国道1号桑名東部拡幅は、三重県桑名市長島町又木から三重県桑名市北浜町に至る延長3.9kmの道路拡幅事業。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・円滑なモビリティの確保 ・物流効率化の支援 ・国土・地域ネットワークの構築 ・個性ある地域の形成	3.9	S51	S60	S63	H18	—	513	35	・当該区間におけるkmあたり渋滞損失時間は依然として高く、県内の国道平均の約3.4倍。 ・桑名東部拡幅区間における3交差点が主要渋滞箇所を選定(H25.1)。	・伊勢大橋関連区間(延長2.1km)について、早期開通に向けて整備を推進。	事業全体(1.2) 残事業(2.6)	事業継続	
2	2次	④	静岡	138	一般国道138号須走道路	一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走と同県御殿場市水野を結ぶ延長約3.8kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・円滑なモビリティの確保 ・国土・地域ネットワークの構築 ・個性ある地域の形成	3.8	H20	H6 H26	H24	H24	1.1	180	35	・東富士五湖道路と一体となって、関東～東海・近畿圏における高速道路通行止め時の道路機能の強化が必要。 ・富士山等への観光交通が多く、水野交差点周辺では、依然として休日渋滞が発生。 ・並行する現道138号では、事故危険区間が5区間存在し、交通事故の約7割は渋滞に起因した追突事故。	・駿東郡小山町須走～御殿場市水野区間(延長2.7km)は、新東名をはじめとする周辺ネットワークの接続状況を踏まえ、整備を推進。	事業全体(2.7) 残事業(5.2)	事業継続	
3	2次	④	静岡	138	一般国道138号御殿場バイパス(西区间)	一般国道138号御殿場バイパス(西区间)は、静岡県御殿場市水野と同県御殿場市萩原を結ぶ延長約4.3kmのバイパス。 下記の4点を主な目的として事業を推進。 ・円滑なモビリティの確保 ・都市の再生 ・国土・地域ネットワークの構築 ・個性ある地域の形成	4.3	H11	H6 H26	H14	H24	1.45	296	24	同上	・御殿場市水野～御殿場市ぐみ沢区間(延長2.9km)は、新東名をはじめとする周辺ネットワークの接続状況を踏まえ、整備を推進。	事業全体(2.5) 残事業(4.8)	事業継続	

※1.(事業種別) 高規格:高 地域高規格:地高 一般1次改築:1次 一般2次改築:2次
 ※2.(再評価該当項目)
 ①事業採択後3年間を経過した時点で未着工の事業
 ②事業採択後5年間を経過した時点で継続中の事業
 ③準備・計画段階で5年間を経過している事業
 ④再評価実施後3年間を経過している事業
 ⑤その他
 ※印は国土交通省所管公共事業の再評価実施要領の改定による期間

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 平成29年度 事業名： 一般国道1号 桑名東部拡幅
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大谷 江二

項目	判定	
	判断根拠	チェック欄
事業を巡る社会経済情勢等の変化		
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■
前回評価からの事業費・事業期間の増加		
事業費の増加	事業費の増加が10%以内 (前回:490億円→今回:513億円 約5%の増額)	<input type="checkbox"/> 増加無し <input checked="" type="checkbox"/> 10%以内増加
事業期間の増加	変更が無い	<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等		
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更が無い(費用便益分析マニュアル(H20.11))	■
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	変更が無い (前回:2,858,614TE/日→今回:2,858,614TE/日)	■
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) 交通量 B/C=1.1 事業費 B/C=1.1 事業期間 B/C=1.03 (残事業) 交通量 B/C=1.5 事業費 B/C=1.6 事業期間 B/C=1.4	■
前回評価で資料の作成を省略していない		■
前回評価で費用対効果分析を省略していない		<input type="checkbox"/>
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)	—
以上より、審議区分： 重点 資料： 作成 費用対効果分析： 実施 とする。		

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 平成29年度 事業名： 一般国道138号 須走道路
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大谷 江二

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
		増加無し	10%以内増加
事業費の増加	事業費の増加が10%を超える (前回:157億円→今回:180億円 約15%の増額)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	変更が無い	■	<input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更が無い(費用便益分析マニュアル(H20.11))	■	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	変更が無い(前回:2,550,209TE/日→今回:2,550,209TE/日)	■	
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) 交通量 B/C=2.6 事業費 B/C=2.7 事業期間 B/C=2.6 (残事業) 交通量 B/C=3.3 事業費 B/C=3.4 事業期間 B/C=3.5	■	
前回評価で資料の作成を省略していない		■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)	—	

以上より、審議区分：**重点** 資料：**作成** 費用対効果分析：**実施** とする。

再評価の重点化・効率化判定票(道路・街路事業)

年度： 平成29年度 事業名： 一般国道138号 御殿場バイパス(西区間)
 担当課： 道路計画課 担当課長名： 大谷 江二

項目	判定		
	判断根拠	チェック欄	
事業を巡る社会経済情勢等の変化			
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	変更が無い	■	
前回評価からの事業費・事業期間の増加			
事業費の増加	事業費の増加が10%を超える (前回:254億円→今回:296億円 約17%の増額)	□	□
事業期間の増加	変更が無い	■	□
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等			
費用便益分析マニュアルに変更がない	変更が無い(費用便益分析マニュアル(H20.11))	■	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	変更が無い(前回:2,550,209TE/日→今回:2,550,209TE/日)	■	
周辺ネットワークで新規事業化がない	周辺ネットワークに新規事業化案件はない。	■	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。 (事業全体) (残事業) 交通量 B/C=2.5 交通量 B/C=3.0 事業費 B/C=2.5 事業費 B/C=3.1 事業期間 B/C=2.3 事業期間 B/C=3.2	■	
前回評価で資料の作成を省略していない		■	
前回評価で費用対効果分析を省略していない		■	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	(自由記述)	-	

以上より、審議区分：**重点** 資料：**作成** 費用対効果分析：**実施** とする。

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）（原案）

担当課：

担当課長名：

事業名	一般国道1号 <small>くわなとうぶかくふく</small> 桑名東部拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：三重県桑名市長島町又木 至：三重県桑名市北浜町			延長	3.9km	
事業概要	<p>一般国道1号は、東京都中央区を起点とし、愛知県名古屋市及び三重県桑名市、四日市市、鈴鹿市等の主要都市を経て大阪府大阪市に至る、我が国の東西交通を担う延長約620kmの主要幹線道路です。</p> <p>本事業の桑名東部拡幅は、三重県桑名市長島町又木を起点とし、同市北浜町に至る延長3.9kmについて、4車線拡幅とともに同区間内において伊勢大橋の架替を行うものであり、交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保や、物流効率化の支援を主な目的として事業を推進しています。</p>					
S51年度事業化	S60年度都市計画決定	S63年度用地着手	H18年度工事着手			
全体事業費	513億円	事業進捗率	35%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	38,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.2 (残事業) 2.6	総費用 (残事業)/事業全体 249/535億円 〔事業費：238/524億円〕 〔維持管理費：11/11億円〕	総便益 (残事業)/事業全体 659/659億円 〔走行時間短縮便益：590/590億円〕 〔走行経費減少便益：68/68億円〕 〔交通事故減少便益：1.0/1.0億円〕	基準年	平成29年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量 : B/C=1.1~1.4(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=2.5~3.0(交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.2~1.3(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=2.4~2.9(事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.1~1.3(事業期間 ±20%) 事業期間 : B/C=2.5~2.8(事業期間 ±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道の年間渋滞損失時間の削減【現況約13.1万人時間/年、削減率約9割】 ・現道の路線バスの利便性向上【名古屋駅⇒桑名駅、桑名駅⇄長島温泉】 <p>②物流効率化の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行不能区間を解消 【総重量20t超過車両の通行規制（自由走行不可）区間に該当】 <p>③国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上【桑名市⇄名古屋市 約14分短縮】。 <p>④個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主要な観光地へのアクセス向上を支援 <p>⑤災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県地域防災計画における緊急輸送道路の位置付け ・架替の必要のある老朽橋梁における通行規制が解消【伊勢大橋】 <p>⑥地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量削減【沿道地域 12,265t/年削減】 <p>⑦生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量削減【1号桑名東部拡幅区間 12.6t/年削減】 ・SPM排出量削減【1号桑名東部拡幅区間 1.02t/年削減】 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>県知事の回答・意見：</p> <p>回答：対応方針（原案）のとおり、事業の継続について異存ありません。</p> <p>意見：本事業は、老朽化著しい伊勢大橋の架け替えとあわせて、国道1号の交通渋滞の緩和、災害に強い道路機能の確保及び物流効率化や観光振興の支援を図るための重要な4車線化事業です。今後も引き続き、本件と十分な調整をしていただき、早期4車線化に向けた事業の推進をお願いいたします。</p>					
事業評価監視委員会の意見						

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・伊勢大橋の老朽化の進行
- ・四日市港・名古屋港の外貿コンテナ貨物利用増加

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は37%。用地取得率は61%。(平成29年3月末時点)

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

施設の構造や工法の変更等

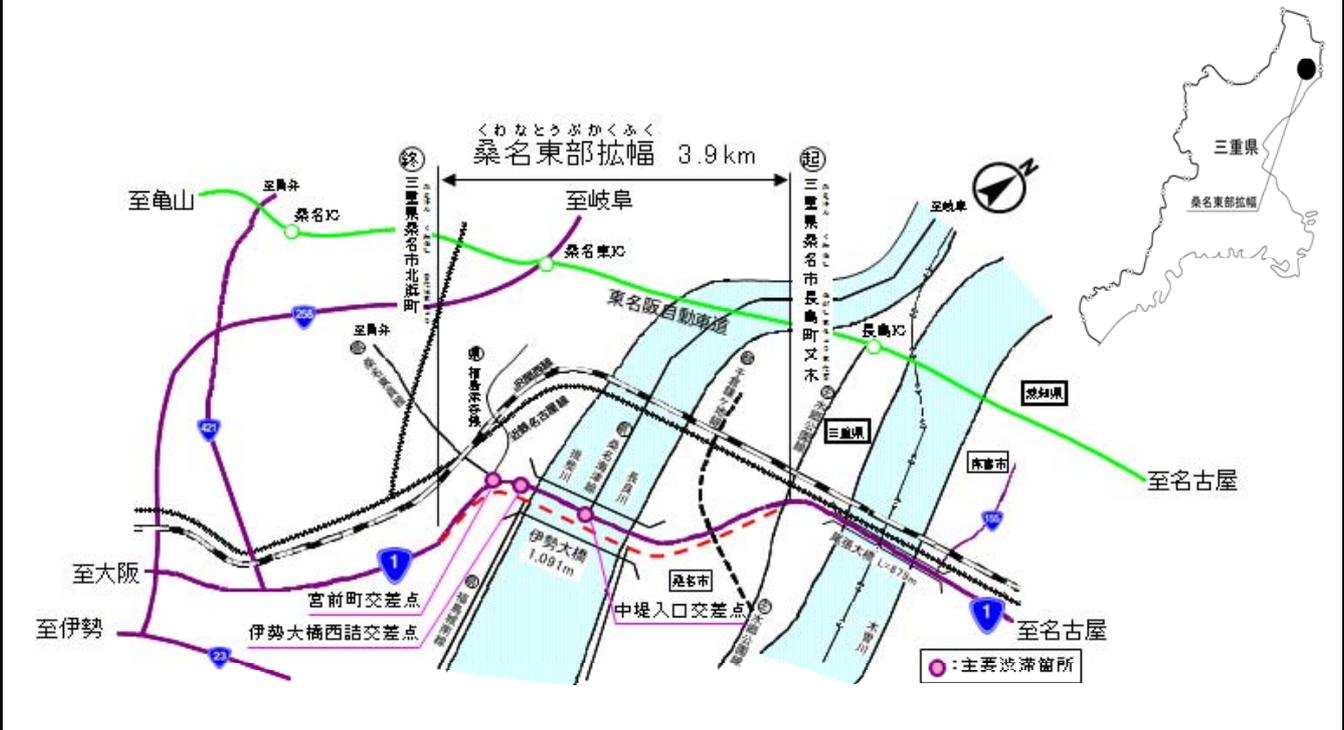
- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針 事業継続

対応方針決定の理由

以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道1号 桑名東部拡幅
事業主体	中部地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C)= 1. 2 経済的純現在価値(B-C)=124億円 経済的内部収益率(EIRR)=4.7% 残事業:費用便益比(B/C)= 2. 6 経済的純現在価値(B-C)=410億円 経済的内部収益率(EIRR)=9.4%

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠		
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況):4508万人・時間/年 渋滞損失削減時間:142万人・時間/年(4508万人・時間/年⇒4366万人・時間/年) 区間b(当該区間)について:(1号桑名東部拡幅区間:L=3.9km) 当該区間の渋滞損失時間:13.1万人・時間/年(1号桑名東部拡幅区間:L=3.9km) 当該区間の渋滞損失削減率:9割削減(1号桑名東部拡幅区間:L=3.9km)	
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される		
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される		
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	三重交通(名古屋桑名線:名古屋駅⇒桑名駅、桑名長島温泉線:桑名駅⇄長島温泉)	
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる		
		<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる		
	物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる		
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上		
	1. 活力	都市の再生	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	総重量20t超過車両の通行規制(自由走行不可)区間に該当
			<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する				
<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり				
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である		

		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が「現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	桑名市⇄名古屋（地方生活圏）改善見込み（90分⇒76分 14分短縮）
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	ナガシマリゾート（H27年間利用者数：15,150千人）、木曾三川公園（H27年間利用者数：1,534千人）、へのアクセスを支援
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	

		<p>対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する</p> <p><input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する</p> <p><input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する</p> <p><input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす</p>	<p>三重県地域防災計画における緊急輸送道路に位置付けられている</p> <p>伊勢大橋（昭和9年架橋）</p>
4. 環境	地球環境の保全	<p><input checked="" type="checkbox"/> 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量</p>	CO2排出削減量：12,265t/年
	生活環境の改善・保全	<p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのNO2排出削減率</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 現道等における自動車からのSPM排出削減率</p> <p><input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある</p> <p><input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される</p>	<p>(現況) 自動車NOx・PM法対策指定地域 (推計結果) 評価対象区間（現道/並行区間等）：（1号桑名東部拡幅区間：L=3.9km） 排出削減量：12.6t/年、排出削減率：1割削減</p> <p>(現況) 自動車NOx・PM法対策指定地域 (推計結果) 評価対象区間（現道/並行区間等）：（号桑名東部拡幅区間：L=3.9km） 排出削減量：1.02t/年、排出削減率：1割削減</p>
5. その他	他のアジェンダとの関係	<p><input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり</p> <p><input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている</p> <p><input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる</p>	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
国道1号	桑名東部拡幅	L=3.9km	二次改築	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
38,100	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	481億円	38億円	519億円
うち残事業分	284億円	38億円	322億円
基準年における 現在価値(C)	524億円	11億円	535億円
うち残事業分	238億円	11億円	249億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成40年度			
単年便益 (初年便益)	42億円	4.8億円	0.08億円	47億円
基準年における 現在価値(B)	590億円	68億円	1.0億円	659億円
うち残事業分	590億円	68億円	1.0億円	659億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	1.2
経済的純現在価値（事業全体）	124 億円
経済的内部収益率（事業全体）	4.7%
費用便益比（残事業）	2.6
経済的純現在価値（残事業）	410 億円
経済的内部収益率（残事業）	9.4%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析（残事業を対象）

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	38,100	±10%	1.1 ~ 1.4
事業費	481億円	±10%	1.2 ~ 1.3
事業期間	50年	±20%	1.1 ~ 1.3

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	38,100	±10%	2.5 ~ 3.0
事業費	284億円	±10%	2.4 ~ 2.9
事業期間	10年	±20%	2.5 ~ 2.8

交通状況の変化

様式－3①

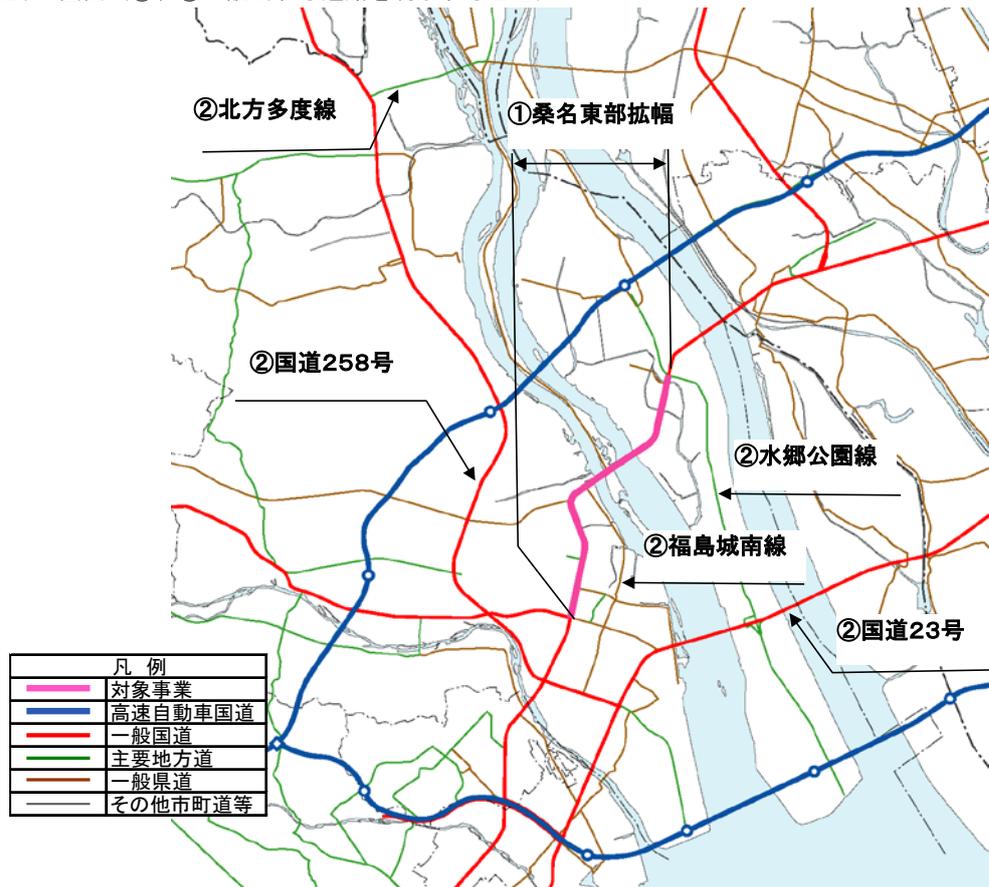
事業名：桑名東部拡幅（事業全体・残事業）

（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 改築区間：3.9km	交通量※ ¹	[台/日]	29,400	38,100	
	走行時間※ ²	[分]	10	6.3	
	走行時間費用※ ³	[億円/年]	56.27	47.80	
②主な周辺道路※ ⁴	福島城南線 ：4.0km	交通量	[台/日]	19,200	18,100
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	41.10	40.85
	国道23号 ：5.8km	交通量	[台/日]	57,800	56,200
		走行時間	[分]	8.6	8.2
		走行時間費用	[億円/年]	101.73	94.59
	国道258号 ：2.9km	交通量	[台/日]	31,400	27,200
		走行時間	[分]	4.6	4.5
		走行時間費用	[億円/年]	26.82	22.32
	水郷公園線 ：4.7km	交通量	[台/日]	5,400	4,100
		走行時間	[分]	8.1	8.1
		走行時間費用	[億円/年]	8.06	6.11
	北方多度線等 ：6.3km	交通量	[台/日]	21,500	19,900
		走行時間	[分]	11	11
		走行時間費用	[億円/年]	47.16	42.71
③その他道路合計 ：1084.8km	走行時間費用	[億円/年]	5,878.52	5,863.05	
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1,112.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	6,159.66	6,117.42	42.24

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名： 桑名東部拡幅

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他	<input type="checkbox"/>	
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成29年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
		複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
		整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
		いずれかのみ推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
		その他()	<input type="checkbox"/>
	開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
		有	<input type="checkbox"/>
有の場合のみ		考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日	
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>	
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>	
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法	<input type="checkbox"/>	
	簡易手法の採択理由	小規模事業である	<input type="checkbox"/>
		山間部海岸部で併行道路が少ない	<input type="checkbox"/>
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	その他()	<input type="checkbox"/>	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度	<input type="checkbox"/>	
	採用理由を記載	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄		
便 益 の 算 定	休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
			対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
			採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
	災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
		考慮する	<input type="checkbox"/>	
		考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
			とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
	冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
考慮する		<input type="checkbox"/>		
考慮する 場合のみ		採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日	
	冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>		
	その他 ()	<input type="checkbox"/>		
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>		
	独自に設定した値を使用	<input type="checkbox"/>		
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>		
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>		
	考慮する	<input type="checkbox"/>		
その他				

事業名： 桑名東部拡幅

(4)

項目		チェック欄		
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概略事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
		考慮する		<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)				
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：国道1号 桑名東部拡幅 (事業全体)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価 (億円)	延長 (km)	単純単価 (億円)	
				0.21	3.9	0.81	
年次	年度	削減率 デフレ率	GDP デフレ率	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-52年目	S 51	4.9931	81.5	0.05	0.32		
-51年目	S 52	4.8010	86.4	0.10	0.57		
-50年目	S 53	4.6164	90.0	0.05	0.26		
-49年目	S 54	4.4388	92.4	0.20	0.99		
-48年目	S 55	4.2681	98.2	0.15	0.67		
-47年目	S 56	4.1039	100.7	0.10	0.42		
-46年目	S 57	3.9461	101.9	0.10	0.40		
-45年目	S 58	3.7943	102.9	0.10	0.38		
-44年目	S 59	3.6484	105.0	0.20	0.72		
-43年目	S 60	3.5081	105.7	0.10	0.34		
-42年目	S 61	3.3731	107.6	0.20	0.65		
-41年目	S 62	3.2434	107.3	0.30	0.93		
-40年目	S 63	3.1187	107.9	6.10	18.14		
-39年目	H 1	2.9987	110.8	2.93	8.16		
-38年目	H 2	2.8834	113.3	1.47	3.85		
-37年目	H 3	2.7725	116.0	1.31	3.22		
-36年目	H 4	2.6658	117.6	1.56	3.65		
-35年目	H 5	2.5633	117.9	1.96	4.38		
-34年目	H 6	2.4647	117.8	4.47	9.63		
-33年目	H 7	2.3699	117.1	14.14	29.45		
-32年目	H 8	2.2788	116.6	6.63	13.33		
-31年目	H 9	2.1911	117.5	3.89	7.46		
-30年目	H 10	2.1068	116.9	3.97	7.36		
-29年目	H 11	2.0258	115.2	4.53	8.20		
-28年目	H 12	1.9479	113.8	1.43	2.52		
-27年目	H 13	1.8730	112.4	0.86	1.47		
-26年目	H 14	1.8009	110.5	4.02	6.74		
-25年目	H 15	1.7317	109.0	1.94	3.17		
-24年目	H 16	1.6651	108.0	5.21	8.27		
-23年目	H 17	1.6010	106.7	0.81	1.25		
-22年目	H 18	1.5395	105.9	2.67	3.99		
-21年目	H 19	1.4802	105.0	0.34	0.50		
-20年目	H 20	1.4233	104.4	0.53	0.74		
-19年目	H 21	1.3686	103.0	0.97	1.33		
-18年目	H 22	1.3159	101.3	0.99	1.32		
-17年目	H 23	1.2653	99.8	1.76	2.30		
-16年目	H 24	1.2167	99.0	3.64	4.60		
-15年目	H 25	1.1699	99.0	11.73	14.26		
-14年目	H 26	1.1249	101.5	26.11	29.78		
-13年目	H 27	1.0816	102.9	28.69	31.04		
-12年目	H 28	1.0400	102.9	26.05	27.09		
基準年	H 29	1.0000	102.9	24.66	24.66		
-10年目	H 30	0.9615	102.9	36.16	34.77		
-9年目	H 31	0.9246	102.9	38.64	35.72		
-8年目	H 32	0.8890	102.9	32.14	28.57		
-7年目	H 33	0.8548	102.9	36.67	31.34		
-6年目	H 34	0.8219	102.9	40.07	32.94		
-5年目	H 35	0.7903	102.9	40.91	32.33		
-4年目	H 36	0.7599	102.9	42.00	31.92		
-3年目	H 37	0.7307	102.9	12.85	9.39		
-2年目	H 38	0.7026	102.9	3.24	2.28		
-1年目	H 39	0.6756	102.9	1.67	1.13		
供用開始年次	H 40	0.6496	102.9			0.75	0.49
1年目	H 41	0.6246	102.9			0.75	0.47
2年目	H 42	0.6006	102.9			0.75	0.45
3年目	H 43	0.5775	102.9			0.75	0.43
4年目	H 44	0.5553	102.9			0.75	0.42
5年目	H 45	0.5339	102.9			0.75	0.40
6年目	H 46	0.5134	102.9			0.75	0.39
7年目	H 47	0.4936	102.9			0.75	0.37
8年目	H 48	0.4746	102.9			0.75	0.36
9年目	H 49	0.4564	102.9			0.75	0.34
10年目	H 50	0.4388	102.9			0.75	0.33
11年目	H 51	0.4220	102.9			0.75	0.32
12年目	H 52	0.4057	102.9			0.75	0.30
13年目	H 53	0.3901	102.9			0.75	0.29
14年目	H 54	0.3751	102.9			0.75	0.28
15年目	H 55	0.3607	102.9			0.75	0.27
16年目	H 56	0.3468	102.9			0.75	0.26
17年目	H 57	0.3335	102.9			0.75	0.25
18年目	H 58	0.3207	102.9			0.75	0.24
19年目	H 59	0.3083	102.9			0.75	0.23
20年目	H 60	0.2965	102.9			0.75	0.22
21年目	H 61	0.2851	102.9			0.75	0.21
22年目	H 62	0.2741	102.9			0.75	0.21
23年目	H 63	0.2636	102.9			0.75	0.20
24年目	H 64	0.2534	102.9			0.75	0.19
25年目	H 65	0.2437	102.9			0.75	0.18
26年目	H 66	0.2343	102.9			0.75	0.18
27年目	H 67	0.2253	102.9			0.75	0.17
28年目	H 68	0.2166	102.9			0.75	0.16
29年目	H 69	0.2083	102.9			0.75	0.16
30年目	H 70	0.2003	102.9			0.75	0.15
31年目	H 71	0.1926	102.9			0.75	0.14
32年目	H 72	0.1852	102.9			0.75	0.14
33年目	H 73	0.1780	102.9			0.75	0.13
34年目	H 74	0.1712	102.9			0.75	0.13
35年目	H 75	0.1646	102.9			0.75	0.12
36年目	H 76	0.1583	102.9			0.75	0.12
37年目	H 77	0.1522	102.9			0.75	0.11
38年目	H 78	0.1463	102.9			0.75	0.11
39年目	H 79	0.1407	102.9			0.75	0.11
40年目	H 80	0.1353	102.9			0.75	0.10
41年目	H 81	0.1301	102.9			0.75	0.10
42年目	H 82	0.1251	102.9			0.75	0.09
43年目	H 83	0.1203	102.9			0.75	0.09
44年目	H 84	0.1157	102.9			0.75	0.09
45年目	H 85	0.1112	102.9			0.75	0.08
46年目	H 86	0.1069	102.9			0.75	0.08
47年目	H 87	0.1028	102.9			0.75	0.08
48年目	H 88	0.0989	102.9			0.75	0.07
49年目	H 89	0.0951	102.9	-49.91	-4.74	0.75	0.07
合計				431.46	524.13	37.50	10.88
単純事業費計				481.36		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：国道1号 桑名東部拡幅 (残事業)				維持管理費の単価単価の算出(消費税率相当率)			
				単価(億円)	延長(km)	単価(億円)	
				0.21	3.9	0.81	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)	現在価値	維持管理費 (億円)	現在価値
				単価		単価	
-52年目	S 51	4.9931	81.5				
-51年目	S 52	4.8010	86.4				
-50年目	S 53	4.6164	90.0				
-49年目	S 54	4.4388	92.4				
-48年目	S 55	4.2681	98.2				
-47年目	S 56	4.1039	100.7				
-46年目	S 57	3.9461	101.9				
-45年目	S 58	3.7943	102.9				
-44年目	S 59	3.6484	105.0				
-43年目	S 60	3.5081	105.7				
-42年目	S 61	3.3731	107.6				
-41年目	S 62	3.2434	107.3				
-40年目	S 63	3.1187	107.9				
-39年目	H 1	2.9987	110.8				
-38年目	H 2	2.8834	113.3				
-37年目	H 3	2.7725	116.0				
-36年目	H 4	2.6658	117.6				
-35年目	H 5	2.5633	117.9				
-34年目	H 6	2.4647	117.8				
-33年目	H 7	2.3699	117.1				
-32年目	H 8	2.2788	116.6				
-31年目	H 9	2.1911	117.5				
-30年目	H 10	2.1068	116.9				
-29年目	H 11	2.0258	115.2				
-28年目	H 12	1.9479	113.8				
-27年目	H 13	1.8730	112.4				
-26年目	H 14	1.8009	110.5				
-25年目	H 15	1.7317	109.0				
-24年目	H 16	1.6651	108.0				
-23年目	H 17	1.6010	106.7				
-22年目	H 18	1.5395	105.9				
-21年目	H 19	1.4802	105.0				
-20年目	H 20	1.4233	104.4				
-19年目	H 21	1.3686	103.0				
-18年目	H 22	1.3159	101.3				
-17年目	H 23	1.2653	99.8				
-16年目	H 24	1.2167	99.0				
-15年目	H 25	1.1699	99.0				
-14年目	H 26	1.1249	101.5				
-13年目	H 27	1.0816	102.9				
-12年目	H 28	1.0400	102.9				
基準年	H 29	1.0000	102.9				
-10年目	H 30	0.9615	102.9	36.16	34.77		
-9年目	H 31	0.9246	102.9	38.64	35.72		
-8年目	H 32	0.8890	102.9	32.14	28.57		
-7年目	H 33	0.8548	102.9	36.67	31.34		
-6年目	H 34	0.8219	102.9	40.07	32.94		
-5年目	H 35	0.7903	102.9	40.91	32.33		
-4年目	H 36	0.7599	102.9	42.00	31.92		
-3年目	H 37	0.7307	102.9	12.85	9.39		
-2年目	H 38	0.7026	102.9	3.24	2.28		
-1年目	H 39	0.6756	102.9	1.67	1.13		
供用開始年次	H 40	0.6496	102.9			0.75	0.49
1年目	H 41	0.6246	102.9			0.75	0.47
2年目	H 42	0.6006	102.9			0.75	0.45
3年目	H 43	0.5775	102.9			0.75	0.43
4年目	H 44	0.5553	102.9			0.75	0.42
5年目	H 45	0.5339	102.9			0.75	0.40
6年目	H 46	0.5134	102.9			0.75	0.39
7年目	H 47	0.4936	102.9			0.75	0.37
8年目	H 48	0.4746	102.9			0.75	0.36
9年目	H 49	0.4564	102.9			0.75	0.34
10年目	H 50	0.4388	102.9			0.75	0.33
11年目	H 51	0.4220	102.9			0.75	0.32
12年目	H 52	0.4057	102.9			0.75	0.30
13年目	H 53	0.3901	102.9			0.75	0.29
14年目	H 54	0.3751	102.9			0.75	0.28
15年目	H 55	0.3607	102.9			0.75	0.27
16年目	H 56	0.3468	102.9			0.75	0.26
17年目	H 57	0.3335	102.9			0.75	0.25
18年目	H 58	0.3207	102.9			0.75	0.24
19年目	H 59	0.3083	102.9			0.75	0.23
20年目	H 60	0.2965	102.9			0.75	0.22
21年目	H 61	0.2851	102.9			0.75	0.21
22年目	H 62	0.2741	102.9			0.75	0.21
23年目	H 63	0.2636	102.9			0.75	0.20
24年目	H 64	0.2534	102.9			0.75	0.19
25年目	H 65	0.2437	102.9			0.75	0.18
26年目	H 66	0.2343	102.9			0.75	0.18
27年目	H 67	0.2253	102.9			0.75	0.17
28年目	H 68	0.2166	102.9			0.75	0.16
29年目	H 69	0.2083	102.9			0.75	0.16
30年目	H 70	0.2003	102.9			0.75	0.15
31年目	H 71	0.1926	102.9			0.75	0.14
32年目	H 72	0.1852	102.9			0.75	0.14
33年目	H 73	0.1780	102.9			0.75	0.13
34年目	H 74	0.1712	102.9			0.75	0.13
35年目	H 75	0.1646	102.9			0.75	0.12
36年目	H 76	0.1583	102.9			0.75	0.12
37年目	H 77	0.1522	102.9			0.75	0.11
38年目	H 78	0.1463	102.9			0.75	0.11
39年目	H 79	0.1407	102.9			0.75	0.11
40年目	H 80	0.1353	102.9			0.75	0.10
41年目	H 81	0.1301	102.9			0.75	0.10
42年目	H 82	0.1251	102.9			0.75	0.09
43年目	H 83	0.1203	102.9			0.75	0.09
44年目	H 84	0.1157	102.9			0.75	0.09
45年目	H 85	0.1112	102.9			0.75	0.08
46年目	H 86	0.1069	102.9			0.75	0.08
47年目	H 87	0.1028	102.9			0.75	0.08
48年目	H 88	0.0989	102.9			0.75	0.07
49年目	H 89	0.0951	102.9	-22.83	-2.17	0.75	0.07
合計				261.51	238.21	37.50	10.88
単純事業費計				284.34		37.50	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：国道1号 桑名東部拡幅（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) H 29	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.6496	102.9	17.34	3.48	21.44	42.26	27.45	1.25	0.29	3.22	4.76	3.09	0.08	0.05	47.10	30.59
1年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.6246	102.9	17.35	3.45	21.45	42.25	26.39	1.25	0.29	3.22	4.76	2.97	0.08	0.05	47.09	29.41
2年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.6006	102.9	17.36	3.42	21.46	42.24	25.37	1.25	0.29	3.23	4.76	2.86	0.08	0.05	47.08	28.28
3年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.5775	102.9	17.22	3.40	21.51	42.13	24.33	1.24	0.28	3.23	4.76	2.75	0.08	0.05	46.97	27.12
4年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.5553	102.9	17.09	3.38	21.56	42.02	23.33	1.23	0.28	3.24	4.75	2.64	0.08	0.04	46.85	26.02
5年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.5339	102.9	16.95	3.36	21.61	41.91	22.38	1.22	0.28	3.25	4.75	2.54	0.08	0.04	46.74	24.96
6年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.5134	102.9	16.82	3.34	21.65	41.81	21.46	1.21	0.28	3.25	4.74	2.44	0.08	0.04	46.63	23.94
7年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4936	102.9	16.68	3.31	21.70	41.70	20.58	1.20	0.28	3.26	4.74	2.34	0.08	0.04	46.51	22.96
8年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.4746	102.9	16.55	3.29	21.75	41.59	19.74	1.19	0.28	3.27	4.74	2.25	0.08	0.04	46.40	22.02
9年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.4564	102.9	16.41	3.27	21.80	41.48	18.93	1.18	0.27	3.28	4.73	2.16	0.08	0.03	46.29	21.12
10年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.4388	102.9	16.28	3.25	21.84	41.37	18.15	1.17	0.27	3.28	4.73	2.07	0.07	0.03	46.17	20.26
11年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.4220	102.9	16.14	3.23	21.89	41.26	17.41	1.16	0.27	3.29	4.72	1.99	0.07	0.03	46.06	19.43
12年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.4057	102.9	16.01	3.21	21.94	41.15	16.70	1.15	0.27	3.30	4.72	1.91	0.07	0.03	45.94	18.64
13年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3901	102.9	15.87	3.19	21.98	41.04	16.01	1.14	0.27	3.30	4.71	1.84	0.07	0.03	45.83	17.88
14年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3751	102.9	15.74	3.17	22.03	40.93	15.36	1.13	0.26	3.31	4.71	1.77	0.07	0.03	45.72	17.15
15年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.3607	102.9	15.60	3.14	22.08	40.83	14.73	1.12	0.26	3.32	4.70	1.70	0.07	0.03	45.60	16.45
16年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.3468	102.9	15.47	3.12	22.13	40.72	14.12	1.11	0.26	3.33	4.70	1.63	0.07	0.02	45.49	15.78
17年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.3335	102.9	15.33	3.10	22.18	40.61	13.54	1.10	0.26	3.33	4.70	1.57	0.07	0.02	45.38	15.13
18年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.3207	102.9	15.20	3.08	22.22	40.50	12.99	1.09	0.26	3.34	4.69	1.50	0.07	0.02	45.26	14.51
19年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.3083	102.9	15.06	3.06	22.27	40.39	12.45	1.08	0.26	3.35	4.69	1.45	0.07	0.02	45.15	13.92
20年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2965	102.9	14.93	3.04	22.32	40.28	11.94	1.07	0.25	3.35	4.68	1.39	0.07	0.02	45.03	13.35
21年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2851	102.9	14.79	3.02	22.37	40.17	11.45	1.06	0.25	3.36	4.68	1.33	0.07	0.02	44.92	12.81
22年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2741	102.9	14.66	2.99	22.41	40.06	10.98	1.05	0.25	3.37	4.67	1.28	0.07	0.02	44.81	12.28
23年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2636	102.9	14.52	2.97	22.46	39.96	10.53	1.05	0.25	3.38	4.67	1.23	0.07	0.02	44.69	11.78
24年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2534	102.9	14.39	2.95	22.51	39.85	10.10	1.04	0.25	3.38	4.67	1.18	0.07	0.02	44.58	11.30
25年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2437	102.9	14.25	2.93	22.55	39.74	9.68	1.03	0.24	3.39	4.66	1.14	0.07	0.02	44.47	10.84
26年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.2343	102.9	14.12	2.91	22.60	39.63	9.29	1.02	0.24	3.40	4.66	1.09	0.07	0.02	44.36	10.39
27年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.2253	102.9	13.99	2.89	22.65	39.52	8.90	1.01	0.24	3.40	4.65	1.05	0.07	0.02	44.24	9.97
28年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.2166	102.9	13.85	2.87	22.70	39.42	8.54	1.00	0.24	3.41	4.65	1.01	0.07	0.01	44.13	9.56
29年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.2083	102.9	13.72	2.85	22.74	39.31	8.19	0.99	0.24	3.42	4.64	0.97	0.07	0.01	44.02	9.17
30年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.2003	102.9	13.59	2.83	22.79	39.20	7.85	0.98	0.24	3.43	4.64	0.93	0.07	0.01	43.91	8.79
31年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1926	102.9	13.45	2.80	22.84	39.10	7.53	0.97	0.23	3.43	4.64	0.89	0.06	0.01	43.80	8.43
32年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1852	102.9	13.32	2.78	22.89	38.99	7.22	0.96	0.23	3.44	4.63	0.86	0.06	0.01	43.69	8.09
33年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1780	102.9	13.19	2.76	22.93	38.89	6.92	0.95	0.23	3.45	4.63	0.82	0.06	0.01	43.58	7.76
34年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1712	102.9	13.06	2.74	22.98	38.78	6.64	0.94	0.23	3.45	4.62	0.79	0.06	0.01	43.47	7.44
35年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1646	102.9	12.93	2.72	23.03	38.68	6.37	0.93	0.23	3.46	4.62	0.76	0.06	0.01	43.36	7.14
36年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1583	102.9	12.80	2.70	23.08	38.57	6.11	0.92	0.23	3.47	4.62	0.73	0.06	0.01	43.25	6.85
37年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1522	102.9	12.67	2.68	23.12	38.47	5.85	0.91	0.22	3.48	4.61	0.70	0.06	0.01	43.14	6.57
38年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1463	102.9	12.54	2.66	23.17	38.37	5.61	0.90	0.22	3.48	4.61	0.67	0.06	0.01	43.04	6.30
39年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1407	102.9	12.41	2.64	23.22	38.27	5.38	0.89	0.22	3.49	4.60	0.65	0.06	0.01	42.93	6.04
40年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1353	102.9	12.28	2.62	23.27	38.16	5.16	0.88	0.22	3.50	4.60	0.62	0.06	0.01	42.82	5.79
41年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1301	102.9	12.15	2.60	23.31	38.06	4.95	0.87	0.22	3.50	4.60	0.60	0.06	0.01	42.72	5.56
42年目	H 82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.1251	102.9	12.02	2.58	23.36	37.96	4.75	0.87	0.22	3.51	4.59	0.57	0.06	0.01	42.61	5.33
43年目	H 83	0.98935	0.99202	1.00203	0.99252	0.1203	102.9	11.90	2.56	23.41	37.86	4.55	0.86	0.21	3.52	4.59	0.55	0.06	0.01	42.51	5.11
44年目	H 84	0.98928	0.99197	1.00203	0.99248	0.1157	102.9	11.77	2.54	23.46	37.76	4.37	0.85	0.21	3.53	4.59	0.53	0.06	0.01	42.41	4.90
45年目	H 85	0.98921	0.99193	1.00202	0.99244	0.1112	102.9	11.64	2.51	23.51	37.66	4.19	0.84	0.21	3.53	4.58	0.51	0.06	0.01	42.30	4.70
46年目	H 86	0.98915	0.99189	1.00202	0.99241	0.1069	102.9	11.52	2.49	23.55	37.56	4.02	0.83	0.21	3.54	4.58	0.49	0.06	0.01	42.20	4.51
47年目	H 87	0.98908	0.99185	1.00202	0.99237	0.1028	102.9	11.39	2.47	23.60	37.47	3.85	0.82	0.21	3.55	4.57	0.47	0.06	0.01	42.10	4.33
48年目	H 88	0.98901	0.99181	1.00201	0.99233	0.0989	102.9	11.27	2.45	23.65	37.37	3.69	0.81	0.21	3.55	4.57	0.45	0.06	0.01	42.00	4.15
49年目	H 89	0.98894	0.99176	1.00201	0.99229	0.0951	102.9	11.14	2.43	23.70	37.27	3.54	0.80	0.20	3.56	4.57	0.43	0.06	0.01	41.90	3.98
合 計								716.70	147.23	1,126.67	1,990.60	589.60	51.59	12.31	169.36	233.25	68.17	3.40	1.04	2,227.26	658.80

路線名	箇所名	車線数	延長
国道1号	桑名東部拡幅	4	3.9km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				37,186	
	改良費				7,874	
		土工	m ³	170,000	471	切土(30,000m ³)、盛土(200,000m ³)、捨土(-m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	80,000	695	
		法面工	m ²		-	
		擁壁工	式	1	758	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m		-	
		函渠工	m	310	765	
		排水工	m	2,860	943	
		中央分離帯工	m	2,860	37	
		雑工	式	1	4,205	側道整備 土工現況撤去 切廻し
	橋梁費				28,170	
		100m以上	m		25,057	
		100m未満	m		3,112	
	トンネル費					
		NATM	m	-	-	
		シールド	m	-	-	
	IC・JCT費					
		IC	箇所	-	-	
		JCT	箇所	-	-	
	舗装費				412	
		車道舗装	m ²	61,100	391	
		歩道舗装	m ²	17,160	20	
	付帯施設費				731	
		交通管理施設工	式	1	637	標識工、防護柵工、道路照明 情報管等
		遮音壁	m	5,200	94	
②	用地及補償費				7,026	
	用地費		m ²		4,991	
		宅地	m ²	99,000	4,991	
		田畑	m ²	-	-	
		山林・原野	m ²	-	-	
		その他	m ²	-	-	
	補償費		式		2,035	
③	間接経費		式		7,088	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				51,300	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
国道1号	桑名東部拡幅	4	3.9km

■維持管理費内訳(事業全体)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.9	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1.0	3,300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,050	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

○その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
国道1号	桑名東部拡幅	4	3.9km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				25,429	
	改良費				6,283	
		土工	m ³	170,000	471	切土(30,000m ³)、盛土(200,000m ³)、捨土(-m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³	80,000	695	
		法面工	m ²		-	
		擁壁工	式	1	758	補強土壁、重力式擁壁、ブロック積擁壁等
		管渠工	m		-	
		函渠工	m	310	765	
		排水工	m	2,860	943	
		中央分離帯工	m	2,860	37	
		雑工	式	1	2,613	側道整備 土工現況撤去 切廻し
	橋梁費				18,004	
		100m以上	m		14,891	
		100m未満	m		3,112	
	トンネル費					
		NATM	m		-	
		シールド	m		-	
	IC・JCT費					
		IC	箇所		-	
		JCT	箇所		-	
	舗装費				412	
		車道舗装	m ²	61,100	391	
		歩道舗装	m ²	17,160	20	
	付帯施設費				731	
		交通管理施設工	式	1	637	標識工、防護柵工、道路照明 情報管等
		遮音壁	m	5,200	94	
②	用地及補償費				2,283	
	用地費		m ²		2,283	
		宅地	m ²	45,293	2,283	
		田畑	m ²	-	-	
		山林・原野	m ²	-	-	
		その他	m ²	-	-	
	補償費		式			
③	間接経費		式		2,815	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				30,527	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
国道1号	桑名東部拡幅	4	3.9km

■維持管理費内訳(残事業)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.9	750	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1.0	3,300	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			4,050	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道138号 須走道路 <small>すばしりどうろ</small>	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局																								
起終点	自：静岡県駿東郡小山町須走 <small>すんどう おやまちょうすばしり</small> 至：静岡県御殿場市水土野 <small>ごてんば みどの</small>			延長	3.8 km																								
事業概要	<p>一般国道138号須走道路は、静岡県駿東郡小山町須走から静岡県御殿場市水土野に至る延長3.8kmのバイパスであり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化や地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減を主な目的として事業を推進しています。</p>																												
H20年度事業化	H6年度都市計画決定 H26年度変更	H24年度用地着手	H24年度工事着手																										
全体事業費	180億円	事業進捗率	35%	供用済延長 (暫定開通含む)	1.1 km																								
計画交通量	16,300台/日																												
費用対効果 分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">B/C</td> <td style="width: 10%;">2.7</td> </tr> <tr> <td>(事業全体)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>5.2</td> </tr> </table>	B/C	2.7	(事業全体)		(残事業)	5.2	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総費用</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>93/181億円</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>73/162億円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>19/19億円</td> </tr> </table>	総費用	(残事業)/(事業全体)		93/181億円	事業費	73/162億円	維持管理費	19/19億円	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">総便益</td> <td style="width: 10%;">(残事業)/(事業全体)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>483/483億円</td> </tr> <tr> <td>走行時間短縮便益</td> <td>420/420億円</td> </tr> <tr> <td>走行経費減少便益</td> <td>49/49億円</td> </tr> <tr> <td>交通事故減少便益</td> <td>14/14億円</td> </tr> </table>	総便益	(残事業)/(事業全体)		483/483億円	走行時間短縮便益	420/420億円	走行経費減少便益	49/49億円	交通事故減少便益	14/14億円	基準年	平成29年
B/C	2.7																												
(事業全体)																													
(残事業)	5.2																												
総費用	(残事業)/(事業全体)																												
	93/181億円																												
事業費	73/162億円																												
維持管理費	19/19億円																												
総便益	(残事業)/(事業全体)																												
	483/483億円																												
走行時間短縮便益	420/420億円																												
走行経費減少便益	49/49億円																												
交通事故減少便益	14/14億円																												
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(事業全体) 交通量 : B/C=2.5~2.8(交通量±10%)</td> <td style="width: 50%;">(残事業) 交通量 : B/C=5.0~5.5(交通量±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業費 : B/C=2.5~2.9(事業費±10%)</td> <td>事業費 : B/C=4.9~5.7(事業費±10%)</td> </tr> <tr> <td>事業期間 : B/C=2.6~3.0(事業期間±20%)</td> <td>事業期間 : B/C=5.1~5.5(事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量 : B/C=2.5~2.8(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=5.0~5.5(交通量±10%)	事業費 : B/C=2.5~2.9(事業費±10%)	事業費 : B/C=4.9~5.7(事業費±10%)	事業期間 : B/C=2.6~3.0(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=5.1~5.5(事業期間±20%)																		
(事業全体) 交通量 : B/C=2.5~2.8(交通量±10%)	(残事業) 交通量 : B/C=5.0~5.5(交通量±10%)																												
事業費 : B/C=2.5~2.9(事業費±10%)	事業費 : B/C=4.9~5.7(事業費±10%)																												
事業期間 : B/C=2.6~3.0(事業期間±20%)	事業期間 : B/C=5.1~5.5(事業期間±20%)																												
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス）が存在する <p>②国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間（御殿場市、小山町須走）を最短時間で連絡する路線を構成する ・日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる <p>③個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点開発プロジェクト（富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク）へのアクセスを支援する ・大規模イベント（富士スピードウェイ）のアクセスを支援する ・主要な観光地（御殿場市・小山町、箱根、富士五湖、富士山）へのアクセス向上が見込まれる <p>④災害への備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落（小山町須走地区）を解消する ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路（東名高速道路・中央自動車道）が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する <p>⑤地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる <p>⑥生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる <p>⑦他のプロジェクトとの関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり 																												
関係する地方公共団体等の意見																													
県知事の意見	<p>本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号の駿東郡小山町須走から御殿場市水土野に</p>																												

至る区間のバイパスであり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路を結ぶ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化、富士山周辺の観光振興や地域活性化、交通渋滞の緩和及び交通事故の削減といったストック効果が期待され、当該地域の発展に寄与する重要な事業です。

引き続き、早期の効果発現に向け事業を推進するとともに、前回の再評価時と比較し全体事業費が増額されていることから、必要な予算の確保とコスト縮減の徹底についても併せてお願いします。

また、各年度の事業実施に当たっては、県と十分な調整をお願いします。

事業評価監視委員会の意見

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

- ・首都圏中央連絡自動車道が開通（H26.6）し、関東圏～東海・近畿圏を結ぶネットワークが強化されました。須走道路においても、通行止め時の迂回、災害に強い道路機能を確保することが重要となっています。
- ・新東名高速道路の開通（H28.2）、富士山世界遺産登録（H25.6）により、観光客の増加が見込まれ、須走道路は地域経済活性化の更なる支援に寄与します。

事業の進捗状況、残事業の内容等

- ・事業進捗率は40%、用地取得率は100%。（平成28年度末）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

- ・駿東郡小山町須走～御殿場市水土野区間（延長2.7km）は、新東名高速道路をはじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めます。

施設の構造や工法の変更等

- ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト縮減に努めながら事業を推進していく。

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式 1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 須走道路
事業主体	中部地方整備局

■事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体:費用便益比(B/C) = 2.7 経済的純現在価値(B-C) = 302億円 経済的内部収益率(EIRR) = 10.5% 残事業:費用便益比(B/C) = 5.2 経済的純現在価値(B-C) = 391億円 経済的内部収益率(EIRR) = 28.6%

■事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更)	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a(費用便益分析対象区間)について 渋滞損失時間(現況): 7.628万人・時間/年 渋滞損失削減時間: 70万人・時間/年 (7.628万人・時間/年⇒7,558万人・時間/年) 区間b(並行区間)について: 一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間(現況): 23.4万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間: 20.1万人・時間/年 (23.4万人・時間/年⇒3.3万人・時間/年) 並行区間の渋滞損失削減率: 約9割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道138号(須走交差点~須走IC交差点)、改善見込み(旅行速度17.8km/h⇒23.9km/h)等 ※H27.8月 フローデータの休日旅行速度(上り)を使用
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	富士急シティバス
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力 都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	

		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A路線)としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	御殿場市、小山町須走
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体 御殿場市、小山町須走、改善見込み(18分⇒13分)
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	東富士リサーチパーク、富士御殿場工業団地、富士スピードウェイ
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	観光交流客数 御殿場市：1,443万人(H27)、小山町：390万人(H27)、箱根町：1,738万人(H27)、富士山周辺：1,197万人(H27)
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上(当該区間が通学路である場合は500台/12h以上)かつ歩行者交通量100人/日以上(当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上)の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する 	小山町須走地区の孤立解消
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり 	静岡県地域防災計画において、第一次緊急輸送道路に定められている
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 	東名高速道路、中央自動車道、新東名高速道路
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす 	
4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 	CO2排出削減量：0.6万t/年
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道138号(須走IC～水土野交差点間)) 排出削減量：3.8t/年、排出削減率：約6割削減
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道138号(須走IC～水土野交差点間)) 排出削減量：0.2t/年、排出削減率：約7割削減
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される 	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている 	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり 	新東名高速道路と仁杉JCT(仮称)で連結
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる 	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道138号	須走道路	L = 3.8 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
16,300	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	168億円	54億円	221億円
うち残事業分	86億円	54億円	140億円
基準年における 現在価値 (C)	162億円	19億円	181億円
うち残事業分	73億円	19億円	93億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	16億円	1.6億円	0.43億円	18億円
基準年における 現在価値 (B)	420億円	49億円	14億円	483億円
うち残事業分	420億円	49億円	14億円	483億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.7
経済的純現在価値（事業全体）	302億円
経済的内部収益率（事業全体）	10.5%
費用便益比（残事業）	5.2
経済的純現在価値（残事業）	391億円
経済的内部収益率（残事業）	28.6%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,300台/日	±10%	2.5~2.8
事業費	168億円	±10%	2.5~2.9
事業期間	18年	±20%	2.6~3.0

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	16,300台/日	±10%	5.0~5.5
事業費	86億円	±10%	4.9~5.7
事業期間	8年	±20%	5.1~5.5

交通状況の変化

様式－3①

事業名：一般国道138号 須走道路（事業全体・残事業）

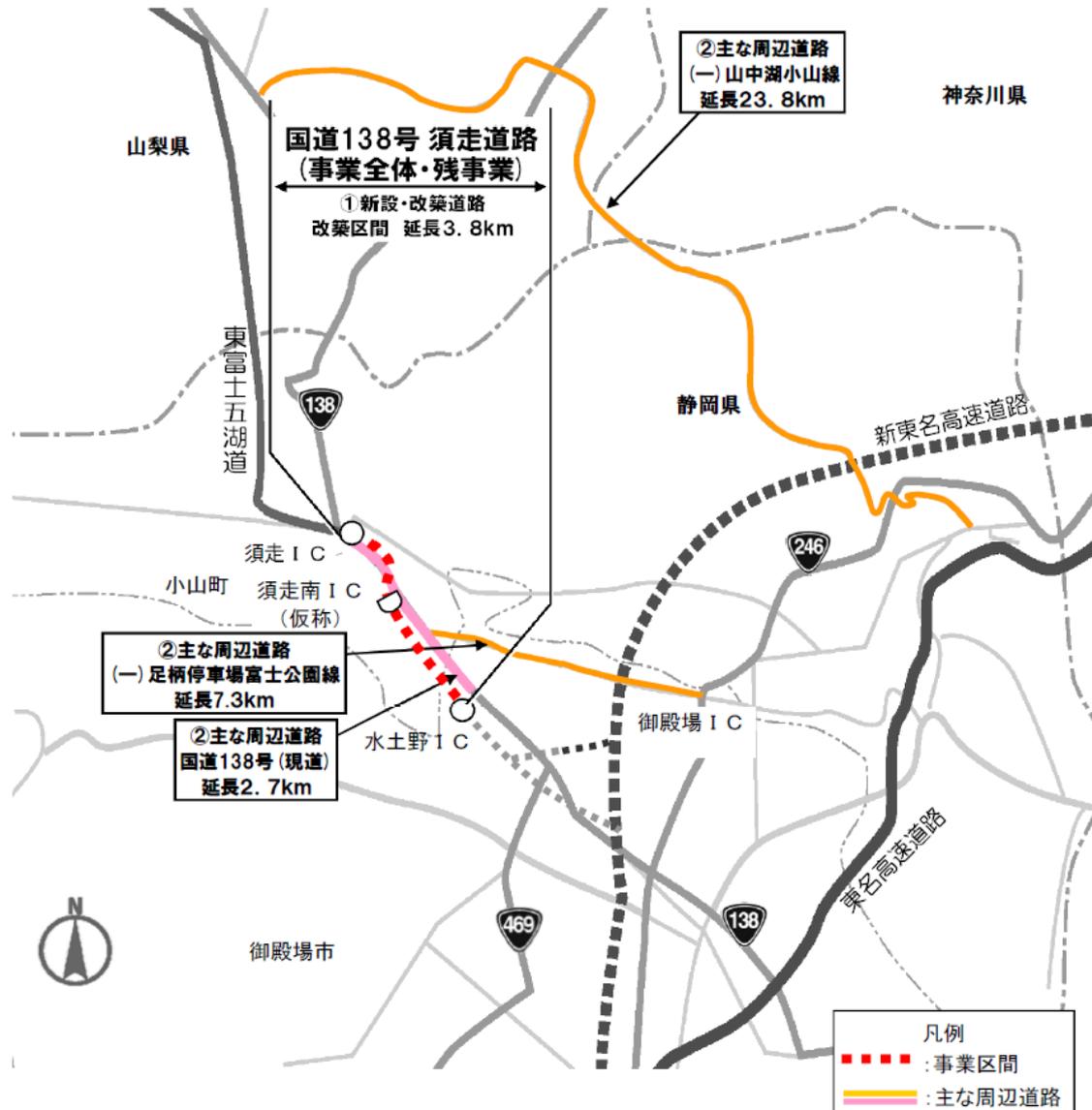
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：3.8km	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	16,300	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	3.1	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	9.04	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道138号（現道）： 2.7km	交通量	[台/日]	14,100	3,000
		走行時間	[分]	5.7	4.4
		走行時間費用	[億円/年]	14.89	2.72
	（一）足柄停車場 富士公園線：7.3km	交通量	[台/日]	4,200	1,900
		走行時間	[分]	11.0	11.0
		走行時間費用	[億円/年]	8.12	3.68
	（一）山中湖小山 線：23.8km	交通量	[台/日]	300	300
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	2.36	2.14
③その他道路合計 ：1228.0km		走行時間費用	[億円/年]	4,160.17	4,143.06

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1265.6km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,185.54	4,160.64	24.90

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号 須走道路

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17ベース)
	パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載 ()台トリップ/日
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による 通行止めの 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
		とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載	<input type="checkbox"/>
冬期交通の 影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
		冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	
交通流推計の 時点以外の 便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間 価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行 経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少 便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走 行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)		
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 須走道路 (事業全体)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				0.32	3.8	1.22	
-23年目	H 10	2.1068	116.9				
-22年目	H 11	2.0258	115.2				
-21年目	H 12	1.9479	113.8				
-20年目	H 13	1.8730	112.4				
-19年目	H 14	1.8009	110.5				
-18年目	H 15	1.7317	109.0				
-17年目	H 16	1.6651	108.0				
-16年目	H 17	1.6010	106.7				
-15年目	H 18	1.5395	105.9				
-14年目	H 19	1.4802	105.0				
-13年目	H 20	1.4233	104.4	0.52	0.73		
-12年目	H 21	1.3686	103.0	0.63	0.86		
-11年目	H 22	1.3159	101.3	0.71	0.95		
-10年目	H 23	1.2653	99.8	2.76	3.60		
-9年目	H 24	1.2167	99.0	6.77	8.56		
-8年目	H 25	1.1699	99.0	6.47	7.87		
-7年目	H 26	1.1249	101.5	10.80	12.31		
-6年目	H 27	1.0816	102.9	19.42	21.00		
-5年目	H 28	1.0400	102.9	18.86	19.62		
基準年	H 29	1.0000	102.9	14.42	14.42		
-3年目	H 30	0.9615	102.9	9.81	9.44		
-2年目	H 31	0.9246	102.9	11.53	10.66		
-1年目	H 32	0.8890	102.9	11.69	10.39		
暫定供用開始年次	H 33	0.8548	102.9	12.04	10.29	0.55	0.47
1年目	H 34	0.8219	102.9	14.81	12.18	0.55	0.45
2年目	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98	0.55	0.43
3年目	H 36	0.7599	102.9	10.19	7.74	0.55	0.42
4年目	H 37	0.7307	102.9	2.35	1.72	0.55	0.40
完成供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.13	0.79
6年目	H 39	0.6756	102.9			1.13	0.76
7年目	H 40	0.6496	102.9			1.13	0.73
8年目	H 41	0.6246	102.9			1.13	0.71
9年目	H 42	0.6006	102.9			1.13	0.68
10年目	H 43	0.5775	102.9			1.13	0.65
11年目	H 44	0.5553	102.9			1.13	0.63
12年目	H 45	0.5339	102.9			1.13	0.60
13年目	H 46	0.5134	102.9			1.13	0.58
14年目	H 47	0.4936	102.9			1.13	0.56
15年目	H 48	0.4746	102.9			1.13	0.54
16年目	H 49	0.4564	102.9			1.13	0.52
17年目	H 50	0.4388	102.9			1.13	0.50
18年目	H 51	0.4220	102.9			1.13	0.48
19年目	H 52	0.4057	102.9			1.13	0.46
20年目	H 53	0.3901	102.9			1.13	0.44
21年目	H 54	0.3751	102.9			1.13	0.42
22年目	H 55	0.3607	102.9			1.13	0.41
23年目	H 56	0.3468	102.9			1.13	0.39
24年目	H 57	0.3335	102.9			1.13	0.38
25年目	H 58	0.3207	102.9			1.13	0.36
26年目	H 59	0.3083	102.9			1.13	0.35
27年目	H 60	0.2965	102.9			1.13	0.33
28年目	H 61	0.2851	102.9			1.13	0.32
29年目	H 62	0.2741	102.9			1.13	0.31
30年目	H 63	0.2636	102.9			1.13	0.30
31年目	H 64	0.2534	102.9			1.13	0.29
32年目	H 65	0.2437	102.9			1.13	0.28
33年目	H 66	0.2343	102.9			1.13	0.26
34年目	H 67	0.2253	102.9			1.13	0.25
35年目	H 68	0.2166	102.9			1.13	0.24
36年目	H 69	0.2083	102.9			1.13	0.24
37年目	H 70	0.2003	102.9			1.13	0.23
38年目	H 71	0.1926	102.9			1.13	0.22
39年目	H 72	0.1852	102.9			1.13	0.21
40年目	H 73	0.1780	102.9			1.13	0.20
41年目	H 74	0.1712	102.9			1.13	0.19
42年目	H 75	0.1646	102.9			1.13	0.19
43年目	H 76	0.1583	102.9			1.13	0.18
44年目	H 77	0.1522	102.9			1.13	0.17
45年目	H 78	0.1463	102.9			1.13	0.17
46年目	H 79	0.1407	102.9			1.13	0.16
47年目	H 80	0.1353	102.9			1.13	0.15
48年目	H 81	0.1301	102.9			1.13	0.15
49年目	H 82	0.1251	102.9	-9.41	-1.18	1.13	0.14
合計				158.26	162.13	53.56	19.26
単純事業費計				167.66		53.56	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 須走道路 (残事業)				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.32	3.8	1.22	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-14年目	H 19	1.4802	105.0				
-13年目	H 20	1.4233	104.4				
-12年目	H 21	1.3686	103.0				
-11年目	H 22	1.3159	101.3				
-10年目	H 23	1.2653	99.8				
-9年目	H 24	1.2167	99.0				
-8年目	H 25	1.1699	99.0				
-7年目	H 26	1.1249	101.5				
-6年目	H 27	1.0816	102.9				
-5年目	H 28	1.0400	102.9				
基準年	H 29	1.0000	102.9				
-3年目	H 30	0.9615	102.9	9.81	9.44		
-2年目	H 31	0.9246	102.9	11.53	10.66		
-1年目	H 32	0.8890	102.9	11.69	10.39		
暫定供用開始年次	H 33	0.8548	102.9	12.04	10.29	0.55	0.47
1年目	H 34	0.8219	102.9	14.81	12.18	0.55	0.45
2年目	H 35	0.7903	102.9	13.89	10.98	0.55	0.43
3年目	H 36	0.7599	102.9	10.19	7.74	0.55	0.42
4年目	H 37	0.7307	102.9	2.35	1.72	0.55	0.40
完成供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.13	0.79
6年目	H 39	0.6756	102.9			1.13	0.76
7年目	H 40	0.6496	102.9			1.13	0.73
8年目	H 41	0.6246	102.9			1.13	0.71
9年目	H 42	0.6006	102.9			1.13	0.68
10年目	H 43	0.5775	102.9			1.13	0.65
11年目	H 44	0.5553	102.9			1.13	0.63
12年目	H 45	0.5339	102.9			1.13	0.60
13年目	H 46	0.5134	102.9			1.13	0.58
14年目	H 47	0.4936	102.9			1.13	0.56
15年目	H 48	0.4746	102.9			1.13	0.54
16年目	H 49	0.4564	102.9			1.13	0.52
17年目	H 50	0.4388	102.9			1.13	0.50
18年目	H 51	0.4220	102.9			1.13	0.48
19年目	H 52	0.4057	102.9			1.13	0.46
20年目	H 53	0.3901	102.9			1.13	0.44
21年目	H 54	0.3751	102.9			1.13	0.42
22年目	H 55	0.3607	102.9			1.13	0.41
23年目	H 56	0.3468	102.9			1.13	0.39
24年目	H 57	0.3335	102.9			1.13	0.38
25年目	H 58	0.3207	102.9			1.13	0.36
26年目	H 59	0.3083	102.9			1.13	0.35
27年目	H 60	0.2965	102.9			1.13	0.33
28年目	H 61	0.2851	102.9			1.13	0.32
29年目	H 62	0.2741	102.9			1.13	0.31
30年目	H 63	0.2636	102.9			1.13	0.30
31年目	H 64	0.2534	102.9			1.13	0.29
32年目	H 65	0.2437	102.9			1.13	0.28
33年目	H 66	0.2343	102.9			1.13	0.26
34年目	H 67	0.2253	102.9			1.13	0.25
35年目	H 68	0.2166	102.9			1.13	0.24
36年目	H 69	0.2083	102.9			1.13	0.24
37年目	H 70	0.2003	102.9			1.13	0.23
38年目	H 71	0.1926	102.9			1.13	0.22
39年目	H 72	0.1852	102.9			1.13	0.21
40年目	H 73	0.1780	102.9			1.13	0.20
41年目	H 74	0.1712	102.9			1.13	0.19
42年目	H 75	0.1646	102.9			1.13	0.19
43年目	H 76	0.1583	102.9			1.13	0.18
44年目	H 77	0.1522	102.9			1.13	0.17
45年目	H 78	0.1463	102.9			1.13	0.17
46年目	H 79	0.1407	102.9			1.13	0.16
47年目	H 80	0.1353	102.9			1.13	0.15
48年目	H 81	0.1301	102.9			1.13	0.15
49年目	H 82	0.1251	102.9	0.00	0.00	1.13	0.14
合計				86.31	73.38	53.56	19.26
単純事業費計				86.31		53.56	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：箇所名：一般国道138号 須走路（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) H 29	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.8548	102.9	10.58	1.32	4.45	16.35	13.98	0.88	0.13	0.57	1.58	1.35	0.43	0.37	18.36	15.70
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.8219	102.9	10.59	1.31	4.45	16.35	13.44	0.88	0.13	0.57	1.58	1.30	0.43	0.35	18.36	15.09
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.7903	102.9	10.60	1.30	4.45	16.35	12.92	0.88	0.12	0.57	1.58	1.25	0.43	0.34	18.35	14.51
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.7599	102.9	10.60	1.29	4.45	16.34	12.42	0.88	0.12	0.57	1.58	1.20	0.43	0.33	18.35	13.95
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.7307	102.9	10.61	1.28	4.46	16.34	11.94	0.88	0.12	0.57	1.58	1.15	0.43	0.31	18.35	13.41
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.7026	102.9	15.68	1.96	7.28	24.92	17.51	1.47	0.22	1.26	2.96	2.08	0.89	0.62	28.77	20.21
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.6756	102.9	15.69	1.94	7.28	24.92	16.83	1.48	0.22	1.26	2.96	2.00	0.89	0.60	28.76	19.43
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.6496	102.9	15.70	1.93	7.29	24.91	16.18	1.48	0.22	1.26	2.95	1.92	0.89	0.58	28.76	18.68
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.6246	102.9	15.71	1.91	7.29	24.91	15.56	1.48	0.22	1.26	2.95	1.85	0.89	0.55	28.75	17.96
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.6006	102.9	15.72	1.89	7.29	24.90	14.96	1.48	0.22	1.26	2.95	1.77	0.89	0.53	28.74	17.26
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.5775	102.9	15.59	1.88	7.31	24.79	14.31	1.47	0.22	1.26	2.94	1.70	0.88	0.51	28.61	16.52
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.5553	102.9	15.47	1.87	7.33	24.67	13.70	1.45	0.21	1.27	2.93	1.63	0.87	0.49	28.48	15.81
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.5339	102.9	15.35	1.86	7.34	24.55	13.11	1.44	0.21	1.27	2.92	1.56	0.87	0.46	28.34	15.13
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.5134	102.9	15.23	1.85	7.36	24.43	12.54	1.43	0.21	1.27	2.91	1.50	0.86	0.44	28.21	14.48
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4936	102.9	15.10	1.84	7.38	24.31	12.00	1.42	0.21	1.27	2.90	1.43	0.86	0.42	28.08	13.86
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.4746	102.9	14.98	1.82	7.39	24.20	11.48	1.41	0.21	1.28	2.89	1.37	0.85	0.41	27.94	13.26
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.4564	102.9	14.86	1.81	7.41	24.08	10.99	1.40	0.21	1.28	2.88	1.32	0.85	0.39	27.81	12.69
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.4388	102.9	14.74	1.80	7.42	23.96	10.51	1.39	0.21	1.28	2.87	1.26	0.84	0.37	27.68	12.15
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.4220	102.9	14.61	1.79	7.44	23.84	10.06	1.37	0.20	1.29	2.86	1.21	0.84	0.35	27.54	11.62
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.4057	102.9	14.49	1.78	7.46	23.72	9.63	1.36	0.20	1.29	2.85	1.16	0.83	0.34	27.41	11.12
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3901	102.9	14.37	1.76	7.47	23.61	9.21	1.35	0.20	1.29	2.84	1.11	0.83	0.32	27.28	10.64
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3751	102.9	14.25	1.75	7.49	23.49	8.81	1.34	0.20	1.29	2.83	1.06	0.82	0.31	27.14	10.18
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.3607	102.9	14.13	1.74	7.50	23.37	8.43	1.33	0.20	1.30	2.82	1.02	0.82	0.29	27.01	9.74
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.3468	102.9	14.00	1.73	7.52	23.25	8.06	1.32	0.20	1.30	2.81	0.98	0.81	0.28	26.88	9.32
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.3335	102.9	13.88	1.72	7.54	23.14	7.72	1.30	0.20	1.30	2.80	0.93	0.81	0.27	26.74	8.92
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.3207	102.9	13.76	1.71	7.55	23.02	7.38	1.29	0.20	1.30	2.79	0.90	0.80	0.26	26.61	8.53
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.3083	102.9	13.64	1.69	7.57	22.90	7.06	1.28	0.19	1.31	2.78	0.86	0.80	0.25	26.48	8.16
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2965	102.9	13.51	1.68	7.58	22.78	6.75	1.27	0.19	1.31	2.77	0.82	0.79	0.23	26.35	7.81
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2851	102.9	13.39	1.67	7.60	22.66	6.46	1.26	0.19	1.31	2.76	0.79	0.79	0.22	26.21	7.47
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2741	102.9	13.27	1.66	7.62	22.55	6.18	1.25	0.19	1.32	2.75	0.75	0.78	0.21	26.08	7.15
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2636	102.9	13.15	1.65	7.63	22.43	5.91	1.24	0.19	1.32	2.74	0.72	0.78	0.20	25.95	6.84
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2534	102.9	13.03	1.64	7.65	22.31	5.65	1.22	0.19	1.32	2.73	0.69	0.77	0.20	25.81	6.54
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2437	102.9	12.90	1.62	7.67	22.19	5.41	1.21	0.19	1.32	2.72	0.66	0.76	0.19	25.68	6.26
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.2343	102.9	12.78	1.61	7.68	22.08	5.17	1.20	0.18	1.33	2.71	0.64	0.76	0.18	25.55	5.99
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.2253	102.9	12.66	1.60	7.70	21.96	4.95	1.19	0.18	1.33	2.70	0.61	0.75	0.17	25.42	5.73
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.2166	102.9	12.54	1.59	7.71	21.84	4.73	1.18	0.18	1.33	2.69	0.58	0.75	0.16	25.28	5.48
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.2083	102.9	12.42	1.58	7.73	21.73	4.53	1.17	0.18	1.34	2.68	0.56	0.74	0.15	25.15	5.24
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.2003	102.9	12.30	1.56	7.75	21.61	4.33	1.16	0.18	1.34	2.67	0.54	0.74	0.15	25.02	5.01
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1926	102.9	12.18	1.55	7.76	21.50	4.14	1.15	0.18	1.34	2.66	0.51	0.73	0.14	24.89	4.79
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1852	102.9	12.06	1.54	7.78	21.38	3.96	1.13	0.18	1.34	2.65	0.49	0.73	0.13	24.76	4.59
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1780	102.9	11.94	1.53	7.79	21.27	3.79	1.12	0.17	1.35	2.64	0.47	0.72	0.13	24.63	4.39
41年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1712	102.9	11.82	1.52	7.81	21.15	3.62	1.11	0.17	1.35	2.63	0.45	0.72	0.12	24.50	4.19
42年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1646	102.9	11.70	1.51	7.83	21.04	3.46	1.10	0.17	1.35	2.62	0.43	0.71	0.12	24.37	4.01
43年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1583	102.9	11.59	1.50	7.84	20.92	3.31	1.09	0.17	1.35	2.61	0.41	0.71	0.11	24.25	3.84
44年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1522	102.9	11.47	1.48	7.86	20.81	3.17	1.08	0.17	1.36	2.61	0.40	0.70	0.11	24.12	3.67
45年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1463	102.9	11.35	1.47	7.88	20.70	3.03	1.07	0.17	1.36	2.60	0.38	0.70	0.10	23.99	3.51
46年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1407	102.9	11.23	1.46	7.89	20.59	2.90	1.06	0.17	1.36	2.59	0.36	0.69	0.10	23.86	3.36
47年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1353	102.9	11.12	1.45	7.91	20.47	2.77	1.05	0.17	1.37	2.58	0.35	0.69	0.09	23.74	3.21
48年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1301	102.9	11.00	1.44	7.92	20.36	2.65	1.03	0.16	1.37	2.57	0.33	0.68	0.09	23.61	3.07
49年目	H 82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.1251	102.9	10.89	1.43	7.94	20.25	2.53	1.02	0.16	1.37	2.56	0.32	0.68	0.08	23.49	2.94
合 計								660.23	82.28	363.69	1,106.19	420.14	61.49	9.29	61.84	132.62	49.13	37.71	14.15	1,276.53	483.42

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					12,538	
	改良費				4,525	
		土工	m ³	414,867	2,519	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	32,980	27	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	878	重力式擁壁、ブロック積擁壁、補強土壁
		管渠工	m			
		函渠工	m	236	167	
		排水工	m	12,229	408	
		調整池工	式	1	39	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式		420	
	橋梁費				6,251	
		100m以上	m	853	4,772	連続高架橋
		100m未満	m	48	433	
		その他橋梁	m		1,046	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				215	
		仮設工	式	1	215	
②用地及補償費					3,455	
	用地費		m ²	97,949	941	
		宅地	m ²	45,612	734	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²	52,336	206	
		その他	m ²			
	補償費		式		2,514	
③間接経費			式		2,007	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
全体事業費					18,000	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■維持管理費内訳(事業全体:完成)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	810	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,680	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,490	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	2	2.7

■維持管理費内訳(事業全体:暫定)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.7	60	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	235	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			295	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				8,766	
	改良費				2,053	
		土工	m ³	284,267	920	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	32,980	27	切土法面、盛土法面、張コン
		擁壁工	式	1	378	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	236	167	
		排水工	m			
		調整池工	式	1	39	
		中央分離帯工	m	1,724	66	
		雑工	式		455	
	橋梁費				5,151	
		100m以上	m	853	3,672	連続高架橋
		100m未満	m	48	433	
		その他橋梁	m		1,046	
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				573	
		車道舗装	m ²	67,310	573	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				975	
		交通管理施設工	式	1	975	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				15	
		仮設工	式	1	15	
②	用地及補償費					
	用地費		m ²			
		宅地	m ²			
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式			
③	間接経費		式		555	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				9,321	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	4	3.8km

■維持管理費内訳(残事業:完成)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	810	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	4,680	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			5,490	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	須走道路	2	2.7

■維持管理費内訳(残事業:暫定)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.7	60	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	235	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			295	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）（原案）

担当課：
担当課長名：

事業名	一般国道138号御殿場バイパス（西区間） <small>ごてんば</small>		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 中部地方整備局
起終点	自：静岡県御殿場市水土野 至：静岡県御殿場市萩原 <small>ごてんば みどの</small> <small>はぎはら</small>				延長	4.3 km
事業概要	<p>一般国道138号御殿場バイパス（西区間）は、静岡県御殿場市水土野から静岡県御殿場市萩原に至る延長4.3kmのバイパスであり、東富士五湖道路を経由して中央自動車道と新東名高速道路をつなぎ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の確保や地域活性化の支援（観光）、交通渋滞の緩和、交通事故の削減を主な目的として事業を推進しています。</p>					
H11年度事業化	H6年度都市計画決定 H26年度変更	H14年度用地着手	H24年度工事着手			
全体事業費	296億円	事業進捗率	24%	供用済延長 (暫定開通含む)	1.45 km	
計画交通量	21,200台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 2.5 (残事業) 4.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 149/293億円 事業費：128/272億円 維持管理費：21/21億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 721/721億円 走行時間短縮便益：636/636億円 走行経費減少便益：71/71億円 交通事故減少便益：14/14億円	基準年	平成29年	
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量：B/C=2.4~2.6(交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=4.6~5.1(交通量±10%) 事業費：B/C=2.3~2.7(事業費±10%) 事業費：B/C=4.5~5.3(事業費±10%) 事業期間：B/C=2.0~2.8(事業期間±20%) 事業期間：B/C=4.7~5.0(事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>①円滑なモビリティの確保 ・現道等の年間渋滞損失時間の削減が見込まれる。 ・現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される。 ・現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線（富士急シティバス）が存在する。</p> <p>②都市の再生 ・区画整理等（神場南土地区画整理事業）の沿道まちづくりとの連携あり。</p> <p>③国土・地域ネットワークの構築 ・当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間（御殿場市、小山町）を最短時間で連絡する路線を構成する。</p> <p>④個性ある地域の形成 ・拠点開発プロジェクト（富士御殿場工業団地、東富士リサーチパーク）へのアクセスを支援する。 ・大規模イベント（富士スピードウェイ）のアクセスを支援する。 ・主要な観光地（御殿場市・小山町、箱根町、富士五湖、富士山）へのアクセス向上が見込まれる。</p> <p>⑤災害への備え ・近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1~2箇所の道路寸断で孤立化する集落（小山町須走地区）を解消する。 ・第一次緊急輸送道路に定められている。 ・緊急輸送道路（東名高速道路・中央自動車道）が通行止になった場合に、大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する。</p> <p>⑥地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。</p> <p>⑦生活環境の改善・保全 ・NO2排出量・SPM排出量の削減が見込まれる。 ・騒音レベルの改善が見込まれる。</p> <p>⑧他のプロジェクトとの関係 ・新東名高速道路と一体的に整備する必要あり。</p>					

関係する地方公共団体等の意見	
<p>県知事の意見：</p> <p>本事業は、静岡県と山梨県を結ぶ国道138号の御殿場市水土野から同市萩原に至る区間のバイパスであり、東富士五湖道路を經由して中央自動車道と新東名高速道路を結ぶ広域ネットワークを形成するとともに、災害に強い道路機能の強化、富士山周辺の観光振興や地域活性化、交通渋滞の緩和及び交通事故の削減といったストック効果が期待され、当該地域の発展に寄与する重要な事業です。</p> <p>引き続き、早期の効果発現に向け事業を推進するとともに、前回の再評価時と比較し全体事業費が増額されていることから、必要な予算の確保とコスト削減の徹底についても併せてお願いします。</p> <p>また、各年度の事業実施に当たっては、県と十分な調整をお願いします。</p>	
事業評価監視委員会の意見	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏中央連絡自動車道が開通（H26.6）し、関東圏～東海・近畿圏を結ぶネットワークが強化されました。須走路路においても、通行止め時の迂回、災害に強い道路機能を確保することが重要となっています。 ・新東名高速道路の開通（H28.2）、富士山世界遺産登録（H25.6）により、観光客の増加が見込まれ、御殿場バイパスは地域経済活性化の更なる支援に寄与します。 	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
<ul style="list-style-type: none"> ・事業進捗率は28%、用地取得率は93%。（平成28年度末） 	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
<ul style="list-style-type: none"> ・御殿場市水土野～御殿場市ぐみ沢区間（延長2.9km）は、新東名高速道路はじめとする周辺のネットワークの接続状況を踏まえつつ、開通に向けて整備を進めていきます。 	
施設の構造や工法の変更等	
<ul style="list-style-type: none"> ・技術の進展に伴う新工法の採用等による新たなコスト削減に努めながら事業を推進していく。 	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
事業概要図	
 <p>国道138号 御殿場バイパス(西区間)</p> <p>静岡県</p>	 <p>県道足柄停車場富士公園線</p> <p>御殿場IC</p> <p>新東名高速道路</p> <p>水土野IC</p> <p>仁杉JCT</p> <p>ぐみ沢IC</p> <p>御殿場市ぐみ沢</p> <p>御殿場バイパス(西区間)</p> <p>延長4.3km</p> <p>暫定開通済 延長1.45km</p> <p>A200周年バイパス</p> <p>H26年度事業化</p> <p>246</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）
事業主体	中部地方整備局

■事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(B/C) = 2.5 経済的純現在価値(B-C) = 428億円 経済的内部収益率(EIRR) = 9.3% 残事業：費用便益比(B/C) = 4.8 経済的純現在価値(B-C) = 572億円 経済的内部収益率(EIRR) = 20.1%

■事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標	指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは口を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力 円滑なモビリティの確保	■ 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間a（費用便益分析対象区間）について 渋滞損失時間（現況）：7.628万人・時間/年 渋滞損失削減時間：115万人・時間/年（7.628万人・時間/年⇒7.514万人・時間/年） 区間b（並行区間）について：一般国道138号 並行区間の渋滞損失時間（現況）：37.2万人・時間/年 並行区間の渋滞損失削減時間：29.8万人・時間/年（37.2万人・時間/年⇒7.3万人・時間/年） 並行区間の渋滞損失削減率：約8割削減
	■ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	対象区間 国道138号（仁杉交差点～ぐみ沢上交差点）、改善見込み（旅行速度18.1km/h⇒21.5km/h）等 ※H25.8月 フローデータの休日旅行速度（上り）を使用
	<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
	■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	富士急シティバス
	<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	
物流効率化の支援	<input type="checkbox"/> 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	
	<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
	<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	
1. 活力 都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
	<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
	■ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	神場南土地区画整理事業

		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
国土・地域ネットワークの構築		<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	
		<input type="checkbox"/> 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	御殿場市、小山町須走
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	対象自治体 御殿場市、小山町須走、改善見込み（18分⇒13分）
個性ある地域の形成		<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	東富士リサーチパーク、富士御殿場工業団地、富士スピードウェイ
		<input checked="" type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	観光交流客数 御殿場市：1,443万人（H27）、小山町：390万人（H27）、箱根町：1,738万人（H27）、富士山周辺：1,197万人（H27）
		<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である	
		<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	
		<input type="checkbox"/> 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
	<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する		
安全で安心できるくらしの確保	<input type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる		
3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は児童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	

	災害への備え	<ul style="list-style-type: none"> ■ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する 	小山町須走地区の孤立解消
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり 	静岡県地域防災計画において、第一次緊急輸送道路に定められている
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する 	東名高速道路、中央自動車道、新東名高速道路
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合） 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する <input type="checkbox"/> 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす 	
4. 環境	地球環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量 	CO2排出削減量：0.9万t/年
	生活環境の改善・保全	<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における自動車からのNO2排出削減率 	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 NO2について環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道138号(水土野～萩原北交差点間)) 排出削減量：4.7t/年、排出削減率：約4割削減
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等における自動車からのSPM排出削減率 	(現況) 自動車NOx・PM法対策地域指定の別 SPMについて環境基準を達成している測定局数の実績 (推計結果) 評価対象区間(並行区間)：(国道138号(水土野～萩原北交差点間)) 排出削減量：0.3t/年、排出削減率：約4割削減
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある 	国道138号(御殿場市仁杉)：夜間騒音レベル65dB(環境基準65dBを超過)、延長5.5km 整備後：69dB⇒61dBに改善
	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される 		
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている 	
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり 	新東名高速道路と仁杉JCT(仮称)で連結
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている 	
		<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる 	

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP・その他の別
一般国道138号	御殿場バイパス (西区間)	L = 4. 3 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
21, 200	4	中部地方整備局

① 費用

	事業費	維持管理費	合計
基準年	平成29年度		
単純合計	277億円	59億円	336億円
うち残事業分	143億円	59億円	202億円
基準年における 現在価値 (C)	272億円	21億円	293億円
うち残事業分	128億円	21億円	149億円

② 便益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合計
基準年	平成29年度			
供用年	平成33年度			
単年便益 (初年便益)	21億円	2.1億円	0.17億円	23億円
基準年における 現在価値 (B)	636億円	71億円	14億円	721億円
うち残事業分	636億円	71億円	14億円	721億円

③ 結果

費用便益比（事業全体）	2.5
経済的純現在価値（事業全体）	428億円
経済的内部収益率（事業全体）	9.3%
費用便益比（残事業）	4.8
経済的純現在価値（残事業）	572億円
経済的内部収益率（残事業）	20.1%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感度分析

【事業全体】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	21,200台/日	±10%	2.4~2.6
事業費	277億円	±10%	2.3~2.7
事業期間	27年	±20%	2.0~2.8

【残事業】

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B/C）
交通量	21,200台/日	±10%	4.6~5.1
事業費	143億円	±10%	4.5~5.3
事業期間	8年	±20%	4.7~5.0

交通状況の変化

様式-3①

事業名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）（事業全体・残事業）

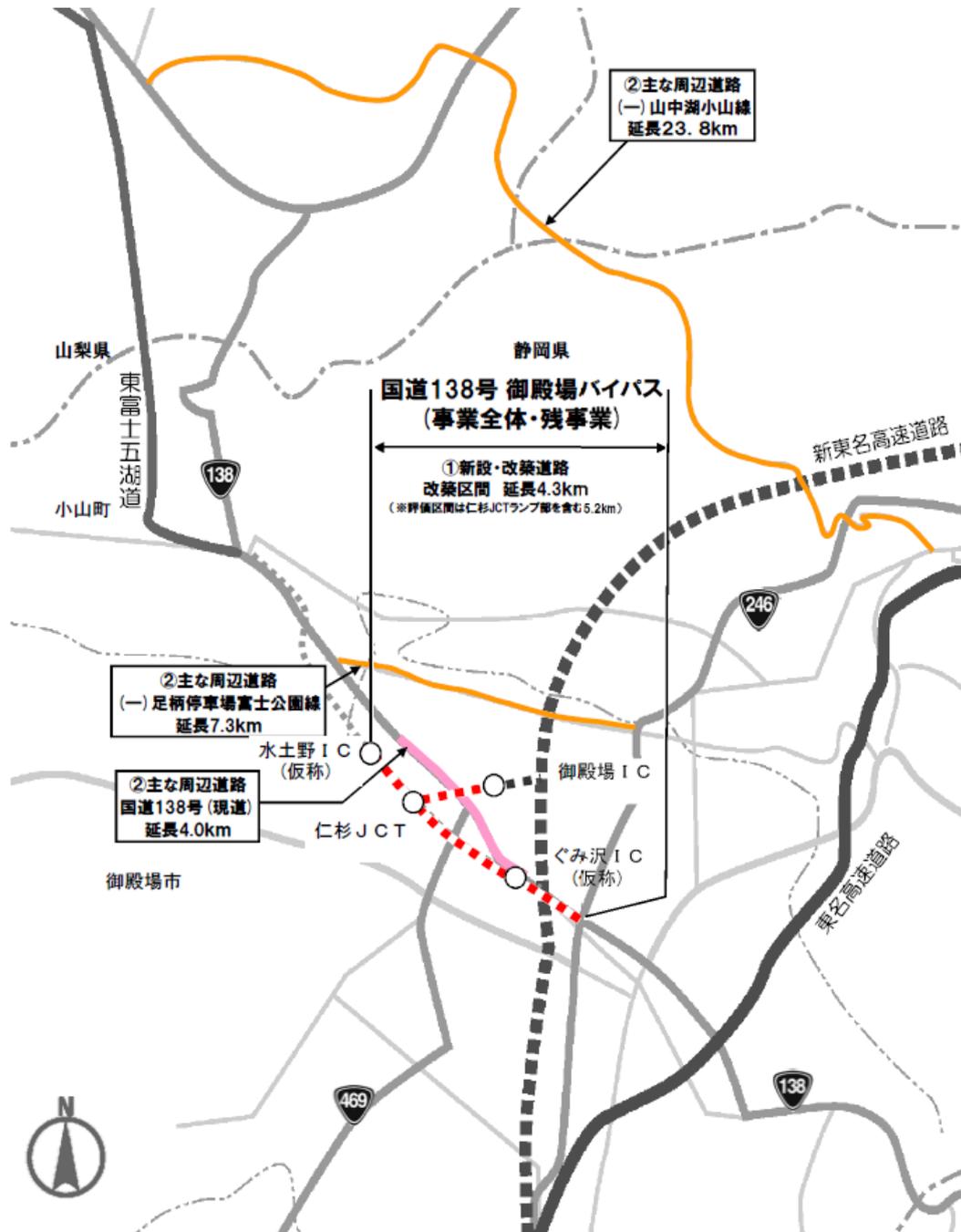
（推計時点 H42年）

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路 新設区間：4.3km （※評価区間は仁杉JCT ランプ部を含む5.2km）	交通量 ^{※1}	[台/日]	-	21,200	
	走行時間 ^{※2}	[分]	-	5.8	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	-	19.36	
②主な周辺道路 ^{※4}	国道138号（現道）： 4.0km	交通量	[台/日]	15,000	3,300
		走行時間	[分]	8.0	6.0
		走行時間費用	[億円/年]	20.45	3.64
	（一）足柄停車場 富士公園線：7.3km	交通量	[台/日]	5,700	1,900
		走行時間	[分]	11.0	11.0
		走行時間費用	[億円/年]	11.18	3.68
	（一）山中湖小山 線：23.8km	交通量	[台/日]	300	300
		走行時間	[分]	39	39
		走行時間費用	[億円/年]	2.35	2.14
③その他道路合計 ：1255.3km		走行時間費用	[億円/年]	4,165.63	4,131.82

			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：1294.7km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,199.61	4,160.64	38.97

- ※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
- ※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
- ※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
- ※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。
- ※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること



費用便益分析の条件

事業名：一般国道138号 御殿場バイパス(西区間)

(2)

項目		チェック欄
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成20年11月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)	<input checked="" type="checkbox"/>
	その他	<input type="checkbox"/>
分析の基本的事項	分析対象期間	50年間
	社会的割引率	4%
	基準年次	平成29年
交通流の推計時点	1時点のみ推計	<input checked="" type="checkbox"/> (H42)
	複数時点での推計	<input type="checkbox"/>
推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	<input checked="" type="checkbox"/>
	整備の有無のいずれかのみ推計	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ の推計とした理由を記載
推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	<input checked="" type="checkbox"/> (H17ベース)
	パーソトリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>
開発交通量の考慮	無	<input checked="" type="checkbox"/>
	有	<input type="checkbox"/>
	有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) ()台トリップ/日 考慮した理由を記載
配分交通量の推計手法	Q-V式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	転換率式を用いた配分	<input type="checkbox"/>
	Q-V式と転換率式の併用による配分	<input checked="" type="checkbox"/>
	均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)	<input type="checkbox"/>
	簡易手法	<input type="checkbox"/>
	簡易手法の 採択理由	小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()
	簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付け して設定	<input checked="" type="checkbox"/>
	採用理由を記載 交通量が、交通容量(Qmax~Qmin)以上の路線、交通容量(Qmin~Qmax)の路線、等が混在した配分結果となっているため、費用便益算出においては、速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。	
	最終配分の速度 採用理由を記載	<input type="checkbox"/>
	その他()	<input type="checkbox"/>

(3)

項目		チェック欄	
休日交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	面的に考慮	<input type="checkbox"/>
		対象路線のみ考慮	<input type="checkbox"/>
		採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の考え方を記載	() %
災害等による通行止めの影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	() 日
とり止め交通を考慮する とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載		<input type="checkbox"/>	
冬期交通の影響	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する	<input type="checkbox"/>	
	考慮する場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載	() 日
冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載			
交通流推計の時点以外の便益の算定	ブロック別・車種別走行台キロの伸び率による設定	<input checked="" type="checkbox"/>	
	その他 ()	<input type="checkbox"/>	
車種別時間価値原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
車種別走行経費原単位	費用便益分析マニュアルの値を使用	<input checked="" type="checkbox"/>	
	独自に設定した値を使用 算出根拠を添付すること	<input type="checkbox"/>	
交通事故減少便益算定	中央分離帯の有無を考慮	<input type="checkbox"/>	
	中央分離帯の有無を考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
走行時間短縮・走行経費減少・交通事故減少以外の便益	考慮しない	<input checked="" type="checkbox"/>	
	考慮する (考慮の場合、算出根拠を添付すること)	<input type="checkbox"/>	
その他			

便益の算定

(4)

		項目	チェック欄	
費用の算定	事業費	詳細事業計画による値を採用	<input type="checkbox"/>	
		標準投資パターンを採用	<input checked="" type="checkbox"/>	
		その他(概算事業計画による値を採用)	<input type="checkbox"/>	
	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載		
		事務所管内直轄路線の1km当たり平均単価(実績値)を使用		
	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	<input type="checkbox"/>	
	当該道路整備が行われない場合の費用	考慮しない		<input checked="" type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>
		考慮する場合のみ	事業費を考慮	<input type="checkbox"/>
			維持管理費を考慮	<input type="checkbox"/>
		当該道路整備が行われない場合の費用を考慮した理由及び考え方を記載(対策内容、費用等)		
その他				
4. その他				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				
.....				

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）				維持修繕費の単純単価の算出(消費税相当額含む)			
(事業全体)				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.31	4.3	1.35	
年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
-23年目	H 10	2.1068	116.9				
-22年目	H 11	2.0258	115.2	1.62	2.93		
-21年目	H 12	1.9479	113.8	0.48	0.84		
-20年目	H 13	1.8730	112.4	0.48	0.82		
-19年目	H 14	1.8009	110.5	0.68	1.15		
-18年目	H 15	1.7317	109.0	0.38	0.62		
-17年目	H 16	1.6651	108.0	0.48	0.76		
-16年目	H 17	1.6010	106.7	0.48	0.74		
-15年目	H 18	1.5395	105.9	0.51	0.77		
-14年目	H 19	1.4802	105.0	1.33	1.93		
-13年目	H 20	1.4233	104.4	0.52	0.73		
-12年目	H 21	1.3686	103.0	0.70	0.96		
-11年目	H 22	1.3159	101.3	0.71	0.95		
-10年目	H 23	1.2653	99.8	2.79	3.63		
-9年目	H 24	1.2167	99.0	10.62	13.43		
-8年目	H 25	1.1699	99.0	7.26	8.83		
-7年目	H 26	1.1249	101.5	11.60	13.23		
-6年目	H 27	1.0816	102.9	17.13	18.53		
-5年目	H 28	1.0400	102.9	28.93	30.08		
基準年	H 29	1.0000	102.9	46.58	46.58		
-3年目	H 30	0.9615	102.9	37.72	36.27		
-2年目	H 31	0.9246	102.9	38.60	35.69		
-1年目	H 32	0.8890	102.9	21.76	19.34		
暫定供用開始年次	H 33	0.8548	102.9	11.11	9.50	0.58	0.50
1年目	H 34	0.8219	102.9	14.58	11.99	0.58	0.48
2年目	H 35	0.7903	102.9	12.50	9.88	0.58	0.46
3年目	H 36	0.7599	102.9	4.17	3.17	0.58	0.44
4年目	H 37	0.7307	102.9	2.78	2.03	0.58	0.43
完成供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.25	0.88
6年目	H 39	0.6756	102.9			1.25	0.84
7年目	H 40	0.6496	102.9			1.25	0.81
8年目	H 41	0.6246	102.9			1.25	0.78
9年目	H 42	0.6006	102.9			1.25	0.75
10年目	H 43	0.5775	102.9			1.25	0.72
11年目	H 44	0.5553	102.9			1.25	0.69
12年目	H 45	0.5339	102.9			1.25	0.67
13年目	H 46	0.5134	102.9			1.25	0.64
14年目	H 47	0.4936	102.9			1.25	0.62
15年目	H 48	0.4746	102.9			1.25	0.59
16年目	H 49	0.4564	102.9			1.25	0.57
17年目	H 50	0.4388	102.9			1.25	0.55
18年目	H 51	0.4220	102.9			1.25	0.53
19年目	H 52	0.4057	102.9			1.25	0.51
20年目	H 53	0.3901	102.9			1.25	0.49
21年目	H 54	0.3751	102.9			1.25	0.47
22年目	H 55	0.3607	102.9			1.25	0.45
23年目	H 56	0.3468	102.9			1.25	0.43
24年目	H 57	0.3335	102.9			1.25	0.42
25年目	H 58	0.3207	102.9			1.25	0.40
26年目	H 59	0.3083	102.9			1.25	0.39
27年目	H 60	0.2965	102.9			1.25	0.37
28年目	H 61	0.2851	102.9			1.25	0.36
29年目	H 62	0.2741	102.9			1.25	0.34
30年目	H 63	0.2636	102.9			1.25	0.33
31年目	H 64	0.2534	102.9			1.25	0.32
32年目	H 65	0.2437	102.9			1.25	0.30
33年目	H 66	0.2343	102.9			1.25	0.29
34年目	H 67	0.2253	102.9			1.25	0.28
35年目	H 68	0.2166	102.9			1.25	0.27
36年目	H 69	0.2083	102.9			1.25	0.26
37年目	H 70	0.2003	102.9			1.25	0.25
38年目	H 71	0.1926	102.9			1.25	0.24
39年目	H 72	0.1852	102.9			1.25	0.23
40年目	H 73	0.1780	102.9			1.25	0.22
41年目	H 74	0.1712	102.9			1.25	0.21
42年目	H 75	0.1646	102.9			1.25	0.21
43年目	H 76	0.1583	102.9			1.25	0.20
44年目	H 77	0.1522	102.9			1.25	0.19
45年目	H 78	0.1463	102.9			1.25	0.18
46年目	H 79	0.1407	102.9			1.25	0.18
47年目	H 80	0.1353	102.9			1.25	0.17
48年目	H 81	0.1301	102.9			1.25	0.16
49年目	H 82	0.1251	102.9	-26.91	-3.37	1.25	0.16
合計				249.59	272.01	59.17	21.23
単純事業費計				276.50		59.17	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間） （残事業）				維持修繕費の単価の算出(消費税相当額含む)			
				単価（億円）	延長（km）	単価（億円）	
				0.31	4.3	1.35	
年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費（億円）		維持管理費（億円）	
				単価	現在	単価	現在
-23年目	H 10	2.1068	116.9				
-22年目	H 11	2.0258	115.2				
-21年目	H 12	1.9479	113.8				
-20年目	H 13	1.8730	112.4				
-19年目	H 14	1.8009	110.5				
-18年目	H 15	1.7317	109.0				
-17年目	H 16	1.6651	108.0				
-16年目	H 17	1.6010	106.7				
-15年目	H 18	1.5395	105.9				
-14年目	H 19	1.4802	105.0				
-13年目	H 20	1.4233	104.4				
-12年目	H 21	1.3686	103.0				
-11年目	H 22	1.3159	101.3				
-10年目	H 23	1.2653	99.8				
-9年目	H 24	1.2167	99.0				
-8年目	H 25	1.1699	99.0				
-7年目	H 26	1.1249	101.5				
-6年目	H 27	1.0816	102.9				
-5年目	H 28	1.0400	102.9				
基準年	H 29	1.0000	102.9				
-3年目	H 30	0.9615	102.9	37.72	36.27		
-2年目	H 31	0.9246	102.9	38.60	35.69		
-1年目	H 32	0.8890	102.9	21.76	19.34		
暫定供用開始年次	H 33	0.8548	102.9	11.11	9.50	0.58	0.50
1年目	H 34	0.8219	102.9	14.58	11.99	0.58	0.48
2年目	H 35	0.7903	102.9	12.50	9.88	0.58	0.46
3年目	H 36	0.7599	102.9	4.17	3.17	0.58	0.44
4年目	H 37	0.7307	102.9	2.78	2.03	0.58	0.43
完成供用開始年次	H 38	0.7026	102.9			1.25	0.88
6年目	H 39	0.6756	102.9			1.25	0.84
7年目	H 40	0.6496	102.9			1.25	0.81
8年目	H 41	0.6246	102.9			1.25	0.78
9年目	H 42	0.6006	102.9			1.25	0.75
10年目	H 43	0.5775	102.9			1.25	0.72
11年目	H 44	0.5553	102.9			1.25	0.69
12年目	H 45	0.5339	102.9			1.25	0.67
13年目	H 46	0.5134	102.9			1.25	0.64
14年目	H 47	0.4936	102.9			1.25	0.62
15年目	H 48	0.4746	102.9			1.25	0.59
16年目	H 49	0.4564	102.9			1.25	0.57
17年目	H 50	0.4388	102.9			1.25	0.55
18年目	H 51	0.4220	102.9			1.25	0.53
19年目	H 52	0.4057	102.9			1.25	0.51
20年目	H 53	0.3901	102.9			1.25	0.49
21年目	H 54	0.3751	102.9			1.25	0.47
22年目	H 55	0.3607	102.9			1.25	0.45
23年目	H 56	0.3468	102.9			1.25	0.43
24年目	H 57	0.3335	102.9			1.25	0.42
25年目	H 58	0.3207	102.9			1.25	0.40
26年目	H 59	0.3083	102.9			1.25	0.39
27年目	H 60	0.2965	102.9			1.25	0.37
28年目	H 61	0.2851	102.9			1.25	0.36
29年目	H 62	0.2741	102.9			1.25	0.34
30年目	H 63	0.2636	102.9			1.25	0.33
31年目	H 64	0.2534	102.9			1.25	0.32
32年目	H 65	0.2437	102.9			1.25	0.30
33年目	H 66	0.2343	102.9			1.25	0.29
34年目	H 67	0.2253	102.9			1.25	0.28
35年目	H 68	0.2166	102.9			1.25	0.27
36年目	H 69	0.2083	102.9			1.25	0.26
37年目	H 70	0.2003	102.9			1.25	0.25
38年目	H 71	0.1926	102.9			1.25	0.24
39年目	H 72	0.1852	102.9			1.25	0.23
40年目	H 73	0.1780	102.9			1.25	0.22
41年目	H 74	0.1712	102.9			1.25	0.21
42年目	H 75	0.1646	102.9			1.25	0.21
43年目	H 76	0.1583	102.9			1.25	0.20
44年目	H 77	0.1522	102.9			1.25	0.19
45年目	H 78	0.1463	102.9			1.25	0.18
46年目	H 79	0.1407	102.9			1.25	0.18
47年目	H 80	0.1353	102.9			1.25	0.17
48年目	H 81	0.1301	102.9			1.25	0.16
49年目	H 82	0.1251	102.9	-0.53	-0.07	1.25	0.16
合計				142.69	127.80	59.17	21.23
単純事業費計				143.22		59.17	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

便益の現在価値算定表

箇所名：箇所名：一般国道138号 御殿場バイパス（西区間）（事業全体・残事業）

年次	年度 (基準年) H 29	総走行台別の年次別伸び率 (東海ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレ率	走行時間短縮便益(億円)					走行経費減少便益(億円)					事故減少便益(億円)		合 計(億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①~③)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 33	1.00049	0.99181	1.00061	0.99916	0.8548	102.9	13.83	2.41	4.85	21.09	18.02	1.07	0.18	0.83	2.08	1.78	0.17	0.15	23.34	19.95
1年目	H 34	1.00049	0.99174	1.00060	0.99916	0.8219	102.9	13.83	2.39	4.85	21.08	17.32	1.07	0.18	0.83	2.08	1.71	0.17	0.14	23.33	19.18
2年目	H 35	1.00049	0.99167	1.00060	0.99916	0.7903	102.9	13.84	2.37	4.85	21.07	16.65	1.07	0.18	0.83	2.08	1.65	0.17	0.14	23.32	18.43
3年目	H 36	1.00049	0.99160	1.00060	0.99916	0.7599	102.9	13.85	2.35	4.85	21.06	16.00	1.07	0.18	0.83	2.08	1.58	0.17	0.13	23.31	17.71
4年目	H 37	1.00049	0.99153	1.00060	0.99916	0.7307	102.9	13.85	2.33	4.86	21.05	15.38	1.07	0.18	0.83	2.08	1.52	0.17	0.13	23.30	17.02
5年目	H 38	1.00049	0.99146	1.00060	0.99916	0.7026	102.9	25.49	4.12	9.43	39.04	27.43	2.11	0.33	1.86	4.31	3.03	0.92	0.65	44.27	31.10
6年目	H 39	1.00049	0.99139	1.00060	0.99916	0.6756	102.9	25.50	4.08	9.44	39.02	26.36	2.12	0.33	1.86	4.31	2.91	0.92	0.62	44.25	29.89
7年目	H 40	1.00049	0.99131	1.00060	0.99916	0.6496	102.9	25.51	4.05	9.44	39.00	25.33	2.12	0.33	1.86	4.31	2.80	0.92	0.60	44.23	28.73
8年目	H 41	1.00049	0.99123	1.00060	0.99915	0.6246	102.9	25.52	4.01	9.45	38.98	24.35	2.12	0.33	1.87	4.31	2.69	0.92	0.57	44.21	27.62
9年目	H 42	0.99222	0.99377	1.00221	0.99408	0.6006	102.9	25.54	3.98	9.46	38.97	23.40	2.12	0.32	1.87	4.31	2.59	0.92	0.55	44.20	26.54
10年目	H 43	0.99216	0.99373	1.00221	0.99404	0.5775	102.9	25.34	3.95	9.48	38.77	22.39	2.10	0.32	1.87	4.29	2.48	0.91	0.53	43.97	25.39
11年目	H 44	0.99210	0.99369	1.00220	0.99401	0.5553	102.9	25.14	3.93	9.50	38.56	21.41	2.09	0.32	1.87	4.28	2.38	0.91	0.50	43.75	24.29
12年目	H 45	0.99203	0.99365	1.00220	0.99397	0.5339	102.9	24.94	3.90	9.52	38.36	20.48	2.07	0.32	1.88	4.27	2.28	0.90	0.48	43.53	23.24
13年目	H 46	0.99197	0.99361	1.00219	0.99393	0.5134	102.9	24.74	3.88	9.54	38.16	19.59	2.05	0.32	1.88	4.25	2.18	0.90	0.46	43.31	22.23
14年目	H 47	0.99191	0.99357	1.00219	0.99390	0.4936	102.9	24.54	3.85	9.56	37.96	18.74	2.04	0.31	1.89	4.24	2.09	0.89	0.44	43.08	21.27
15年目	H 48	0.99184	0.99353	1.00218	0.99386	0.4746	102.9	24.34	3.83	9.58	37.75	17.92	2.02	0.31	1.89	4.22	2.00	0.89	0.42	42.86	20.34
16年目	H 49	0.99177	0.99349	1.00218	0.99382	0.4564	102.9	24.15	3.80	9.60	37.55	17.14	2.00	0.31	1.90	4.21	1.92	0.88	0.40	42.64	19.46
17年目	H 50	0.99170	0.99345	1.00217	0.99378	0.4388	102.9	23.95	3.78	9.62	37.35	16.39	1.99	0.31	1.90	4.19	1.84	0.88	0.38	42.42	18.61
18年目	H 51	0.99163	0.99340	1.00217	0.99374	0.4220	102.9	23.75	3.75	9.64	37.15	15.67	1.97	0.31	1.90	4.18	1.76	0.87	0.37	42.19	17.80
19年目	H 52	0.99156	0.99336	1.00216	0.99370	0.4057	102.9	23.55	3.73	9.67	36.94	14.99	1.95	0.30	1.91	4.16	1.69	0.86	0.35	41.97	17.03
20年目	H 53	0.99149	0.99332	1.00216	0.99366	0.3901	102.9	23.35	3.70	9.69	36.74	14.33	1.94	0.30	1.91	4.15	1.62	0.86	0.34	41.75	16.29
21年目	H 54	0.99142	0.99327	1.00216	0.99362	0.3751	102.9	23.15	3.68	9.71	36.54	13.71	1.92	0.30	1.92	4.14	1.55	0.85	0.32	41.53	15.58
22年目	H 55	0.99134	0.99323	1.00215	0.99358	0.3607	102.9	22.95	3.65	9.73	36.33	13.11	1.90	0.30	1.92	4.12	1.49	0.85	0.31	41.31	14.90
23年目	H 56	0.99127	0.99318	1.00215	0.99354	0.3468	102.9	22.75	3.63	9.75	36.13	12.53	1.89	0.29	1.92	4.11	1.42	0.84	0.29	41.08	14.25
24年目	H 57	0.99119	0.99313	1.00214	0.99350	0.3335	102.9	22.56	3.60	9.77	35.93	11.98	1.87	0.29	1.93	4.09	1.36	0.84	0.28	40.86	13.63
25年目	H 58	0.99111	0.99308	1.00214	0.99346	0.3207	102.9	22.36	3.58	9.79	35.73	11.46	1.86	0.29	1.93	4.08	1.31	0.83	0.27	40.64	13.03
26年目	H 59	0.99103	0.99304	1.00213	0.99341	0.3083	102.9	22.16	3.56	9.81	35.52	10.95	1.84	0.29	1.94	4.06	1.25	0.83	0.25	40.42	12.46
27年目	H 60	0.99095	0.99299	1.00213	0.99337	0.2965	102.9	21.96	3.53	9.83	35.32	10.47	1.82	0.29	1.94	4.05	1.20	0.82	0.24	40.19	11.92
28年目	H 61	0.99087	0.99294	1.00212	0.99333	0.2851	102.9	21.76	3.51	9.85	35.12	10.01	1.81	0.28	1.94	4.04	1.15	0.82	0.23	39.97	11.39
29年目	H 62	0.99080	0.99290	1.00212	0.99329	0.2741	102.9	21.56	3.48	9.87	34.92	9.57	1.79	0.28	1.95	4.02	1.10	0.81	0.22	39.75	10.89
30年目	H 63	0.99073	0.99286	1.00211	0.99326	0.2636	102.9	21.36	3.46	9.90	34.71	9.15	1.77	0.28	1.95	4.01	1.06	0.80	0.21	39.53	10.42
31年目	H 64	0.99066	0.99281	1.00211	0.99322	0.2534	102.9	21.17	3.43	9.92	34.51	8.75	1.76	0.28	1.96	3.99	1.01	0.80	0.20	39.31	9.96
32年目	H 65	0.99059	0.99277	1.00210	0.99318	0.2437	102.9	20.97	3.41	9.94	34.31	8.36	1.74	0.28	1.96	3.98	0.97	0.79	0.19	39.08	9.52
33年目	H 66	0.99053	0.99273	1.00210	0.99315	0.2343	102.9	20.77	3.38	9.96	34.11	7.99	1.72	0.27	1.97	3.96	0.93	0.79	0.18	38.86	9.11
34年目	H 67	0.99046	0.99269	1.00210	0.99311	0.2253	102.9	20.57	3.36	9.98	33.91	7.64	1.71	0.27	1.97	3.95	0.89	0.78	0.18	38.64	8.71
35年目	H 68	0.99039	0.99265	1.00209	0.99307	0.2166	102.9	20.38	3.33	10.00	33.71	7.30	1.69	0.27	1.97	3.94	0.85	0.78	0.17	38.42	8.32
36年目	H 69	0.99032	0.99260	1.00209	0.99303	0.2083	102.9	20.18	3.31	10.02	33.51	6.98	1.67	0.27	1.98	3.92	0.82	0.77	0.16	38.20	7.96
37年目	H 70	0.99025	0.99256	1.00208	0.99300	0.2003	102.9	19.99	3.28	10.04	33.31	6.67	1.66	0.27	1.98	3.91	0.78	0.77	0.15	37.99	7.61
38年目	H 71	0.99018	0.99252	1.00208	0.99296	0.1926	102.9	19.79	3.26	10.06	33.11	6.38	1.64	0.26	1.99	3.89	0.75	0.76	0.15	37.77	7.27
39年目	H 72	0.99011	0.99248	1.00208	0.99292	0.1852	102.9	19.60	3.24	10.08	32.92	6.09	1.63	0.26	1.99	3.88	0.72	0.76	0.14	37.55	6.95
40年目	H 73	0.99004	0.99244	1.00207	0.99289	0.1780	102.9	19.40	3.21	10.10	32.72	5.83	1.61	0.26	1.99	3.87	0.69	0.75	0.13	37.33	6.65
41年目	H 74	0.98997	0.99239	1.00207	0.99285	0.1712	102.9	19.21	3.19	10.13	32.52	5.57	1.59	0.26	2.00	3.85	0.66	0.75	0.13	37.12	6.35
42年目	H 75	0.98990	0.99235	1.00206	0.99281	0.1646	102.9	19.02	3.16	10.15	32.33	5.32	1.58	0.26	2.00	3.84	0.63	0.74	0.12	36.90	6.07
43年目	H 76	0.98984	0.99231	1.00206	0.99278	0.1583	102.9	18.83	3.14	10.17	32.13	5.09	1.56	0.26	2.01	3.82	0.61	0.74	0.12	36.69	5.81
44年目	H 77	0.98977	0.99227	1.00206	0.99274	0.1522	102.9	18.63	3.11	10.19	31.94	4.86	1.55	0.25	2.01	3.81	0.58	0.73	0.11	36.48	5.55
45年目	H 78	0.98970	0.99223	1.00205	0.99270	0.1463	102.9	18.44	3.09	10.21	31.74	4.65	1.53	0.25	2.02	3.80	0.56	0.72	0.11	36.26	5.31
46年目	H 79	0.98963	0.99218	1.00205	0.99266	0.1407	102.9	18.25	3.07	10.23	31.55	4.44	1.51	0.25	2.02	3.78	0.53	0.72	0.10	36.05	5.07
47年目	H 80	0.98956	0.99214	1.00204	0.99263	0.1353	102.9	18.06	3.04	10.25	31.36	4.24	1.50	0.25	2.02	3.77	0.51	0.71	0.10	35.84	4.85
48年目	H 81	0.98949	0.99210	1.00204	0.99259	0.1301	102.9	17.88	3.02	10.27	31.17	4.05	1.48	0.25	2.03	3.76	0.49	0.71	0.09	35.63	4.64
49年目	H 82	0.98942	0.99206	1.00204	0.99255	0.1251	102.9	17.69	2.99	10.29	30.97	3.87	1.47	0.24	2.03	3.74	0.47	0.70	0.09	35.42	4.43
合 計								1,055.94	170.90	466.87	1,693.71	636.31	87.23	13.83	91.51	192.58	70.84	37.78	13.60	1,924.07	720.76

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(事業全体)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				23,170	
	改良費				8,389	
		土工	m ³	784,615	4,881	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	69	切土法面、盛土法面、張コン
		擁壁工	式	10,690	1,415	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	301	341	
		排水工	m	40,208	1,328	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				12,717	
		100m以上	m	1,920	11,194	連続高架橋
		100m未満	m	295	1,524	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	1	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				589	
		仮設工	式	1	589	
②	用地及補償費				3,909	
	用地費		m ²	254,824	2,691	
		宅地	m ²	22,693	1,002	
		田畑	m ²	71,828	1,060	
		山林・原野	m ²	160,303	629	
		その他	m ²			
	補償費		式		1,218	
③	間接経費		式		2,521	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				29,600	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■維持管理費内訳(事業全体:完成)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	4.3	900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,175	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,075	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	2	2.85km

■維持管理費内訳(事業全体:暫定)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.85	65	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			315	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①	工事費				14,740	
	改良費				4,459	
		土工	m ³	476,615	1,833	切土、盛土
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	80,936	69	切土法面、盛土法面、張コン
		擁壁工	式	10,690	715	重力式擁壁、プレキャストL型擁壁、補強土壁等
		管渠工	m			
		函渠工	m	301	341	
		排水工	m	34,708	1,146	
		調整池工	式	1	228	
		中央分離帯工	m	3,270	125	
		雑工	式			
	橋梁費				8,717	
		100m以上	m	1,920	7,194	連続高架橋
		100m未満	m	295	1,524	
		その他橋梁	m			
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費				1,283	
		車道舗装	m ²	204,772	1,283	
		その他舗装	m ²			
	付帯施設費				192	
		交通管理施設工	式	1	192	通信管路工、防護柵工、案内標識、道路照明等
		遮音壁	m			
	その他仮設工・雑工				89	
		仮設工	式	1	89	
②	用地及補償費				141	
	用地費		m ²	1,200	53	
		宅地	m ²	1,200	53	
		田畑	m ²			
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式		88	
③	間接経費		式		582	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
	全体事業費				15,464	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、土木工事標準歩係及び近接事業箇所の実績単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	4	4.3km

■維持管理費内訳(残事業:完成)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	3.8	900	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	5,175	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			6,075	

【単価等について】

- 維持管理費は実績に基づき算出
- 完成は45年間、暫定は5年間の維持管理費にて算出
- その他には、事業の特性に応じて必要な経費を計上

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道138号	御殿場バイパス(西区間)	2	2.85km

■維持管理費内訳(残事業:暫定)

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	Km	2.85	65	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	250	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			315	

【単価等について】

○維持管理費は実績に基づき算出